

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0801 - 03

事務事業名	がん対策推進事業	担当組織	池袋保健所	地域保健課
-------	----------	------	-------	-------

事業特性				
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般
単独／補助	国・都補助事業	運営形態	直営	計画事業
事業を構成する予算事業	① がん対策推進事業経費			②
計画事業No.	3	-	3	-
	1	-	5	

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち		政策	健康な生活の維持・増進
施策	がん・生活習慣病対策等の推進		施策番号	3-3-1
施策の目標	がんによる死亡率の減少を目指します。			
			関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標	高齢になっても元気で住み続けられるまち

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	がん患者、がんに関心がある区民							
	事業の目的・期待する効果	がん対策推進計画に基づく取組を行うことで、がん検診率の向上や予防による罹患患者数の減少、患者とその家族の負担軽減を図り、がん罹患後の生活基盤が安定すること。							
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> がん対策推進条例及びがん対策推進計画の進捗管理を行う がん患者のウィッグ・胸部補正具等購入経費助成事業を実施する 							
基礎データ (事業のための資産利用者等の情報)	がん対策推進会議の開催回数(令和3年度は開催なし) 国の指針に基づく5がん(胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん)検診の受診率 21.8%								
事業目標の達成状況	成果指標 (事業目標の達成度)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)
	①	がん検診受診率	↗	%	19.3	20.8	20.6	21.8	21.5
	②	がん患者のウィッグ・胸部補正具等購入経費助成件数	↗	件	54	58	80	83	80
	③								
	指標の説明	①国の指針である5がん(胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん)の受診率の平均値 ②がん患者のウィッグ・胸部補正具等購入経費助成に申請し助成を受けた件数							
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							
事業の取組実績	3年度の取組内容 (3年度に実施した具体的な業務内容)	広報としま、区ホームページ、各種がん啓発イベントを活用して、がん患者のウィッグ・胸部補正具等購入経費助成事業を周知している。							
	活動指標 (事業の実施状況)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)
	①	がん対策推進会議の開催	→	回	0	4	0	0	0
	②	がん対策推進特別講演会の開催	→	回	1	1	1	1	1
	③								
指標の説明	①がん対策推進会議の開催回数 ②がん対策推進特別講演会の開催回数								
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							

2. 事業費の推移							
単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)	元年度	2年度	3年度			4年度	
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減(R3決算比)
事業費	A	3,359	2,067	1,310	0.0%	1,106	1,106
人件費	【正規(人数)】	(0.60)	(1.00)	—	(0.30)	(0.40)	—
	【会計年度任用職員等(人数)】			—			—
	人件費 B	B	5,100	8,500	—	2,550	3,400
事業費(人件費含む)	C=A+B	8,459	10,567	—	2,550	4,506	1,956
財源内訳	国、都支出金	1,410	358				0
	使用料・手数料						0
	地方債・その他						0
	一般財源	E=C-D	7,049	10,209	—	2,550	4,506

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

豊島区は平成22年度にがん対策推進条例を制定し、がん対策推進計画を策定して早くからがん対策を進めてきた。令和2年度に改定したがん対策推進計画では、4つ目の柱として新たに「ライフステージに応じたがん対策」を加えて取り組んでいる。がん患者のウィッグ・胸部補正具等購入費用助成は、外見の変化を伴うがん治療を受けている方が、がんと共に生き、前向きな療養生活を送るための支援として重要である。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0801 - 04

事務事業名	受動喫煙防止対策事業	担当組織	池袋保健所	地域保健課
-------	------------	------	-------	-------

事業特性				
事業開始年度	28年度	事業終了年度		計画／一般
単独／補助	国・都補助事業	運営形態	直営	計画事業
事業を構成する予算事業	① 受動喫煙防止対策事業経費			②
計画事業No.	3	-	3	-
	1	-	1	-
				4

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち		政策	健康な生活の維持・増進
施策	がん・生活習慣病対策等の推進		施策番号	3-3-1
施策の目標	がんによる死亡率の減少を目指します。			
			関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標	高齢になっても元気で住み続けられるまち

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	妊婦本人、妊婦や18歳未満の子どもと同居している区民、2人以上の方が利用する施設							
	事業の目的・期待する効果	望まない受動喫煙による健康被害を未然に防止すること							
	事業概要	健康増進、がん予防の観点から受動喫煙を防止するための各種事業を実施する。							
基礎データ (事業のための資産 利用者等の情報)	客席を設けて飲食を提供する区内飲食店 約6,000店舗 喫煙率13.0%(令和2年度健康に関する意識調査)								
事業目標の達成状況	成果指標 (事業目標の達成度)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)
	①	子どものための禁煙外来治療費助成事業助成件数	↗	件	5	1	10	6	5
	②								
	③								
指標の説明	①子どものための禁煙外来治療費助成事業の助成を受けて治療した件数								
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由 禁煙治療を途中で断念したと考えられるため							
事業の取組実績	3年度の取組内容	前年度に未掲示であった飲食店及び新規営業許可を受けた飲食店約2,800舗に対し、委託によりステッカー掲示確認を実施した。広報としま、区ホームページ、各種がん啓発イベントを活用して事業を周知している。「ゆりかご面談」(健康推進課)時に、事業対象に当てはまる区民をスクリーニングし口頭で周知している。							
	3年度に実施した具体的な業務内容								
	活動指標 (事業の実施状況)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)
	①	受動喫煙防止対策推進店登録店舗数	↗	件	78	79	84	79	80
②	子どものための禁煙外来治療費助成事業申請件数	↗	件	6	5	10	14	5	
③	「禁煙」「喫煙専用室」標識配布数	→	件	400	6046	800	1335	800	
指標の説明	①受動喫煙防止対策推進店登録店(禁煙レストランとしま)の登録店舗数 ②子どものための禁煙外来治療費助成事業の申請件数 ③都条例により飲食店舗の出入口に掲示が義務付けられているシール標識の配布数								
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							

2. 事業費の推移								
単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)	元年度	2年度	3年度		4年度			
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)	
事業費	A	105	19,243	3,894	0.0%	258	258	
人件費	【正規(人数)】	(0.40)	(0.40)	—	(1.00)	(0.70)	—	
	【会計年度任用職員等(人数)】			—			—	
	人件費 B	B	3,400	3,400	—	8,500	5,950	-2,550
事業費(人件費含む)	C=A+B	3,505	22,643	—	8,500	6,208	-2,292	
財源内訳	国、都支出金		154	19,369	3,759		118	118
	使用料・手数料	D						0
	地方債・その他							0
	一般財源	E=C-D	3,351	3,274	—	8,500	6,090	-2,410

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
 令和2年4月1日から罰則規定ありの改正健康増進法、東京都受動喫煙防止条例が全面施行されたため、東京都の補助金を活用して区内全飲食店に法令の普及啓発及び掲示確認を行った。今後は、一般財源の歳出を抑えて新規の飲食店を中心に法令の趣旨普及を図るとともに、子どものための禁煙外来治療費助成事業の啓発を行っていくことで、望まない受動喫煙と受動喫煙による健康被害から区民を守っていく。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0801 - 07

事務事業名	福祉健康診査事業	担当組織	池袋保健所	地域保健課
-------	----------	------	-------	-------

事業特性				
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般
単独／補助	国・都補助＋区上乗せ事業	運営形態	全部業務委託	計画事業
事業を構成する予算事業	① 福祉健康診査経費		②	計画事業No. 3 - 3 - 1 - 1

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち	政策	健康な生活の維持・増進	
施策	がん・生活習慣病対策等の推進	施策番号	3-3-1	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標 高齢になっても元気で住み続けられるまち
施策の目標	生活習慣病の発症及び重症化予防を推進します。			

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	豊島区内40歳以上の生活保護受給者および「中国残留邦人等の円滑な帰国の推進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律」による支援給付対象者、東日本大震災被災者							
	事業の目的・期待する効果	福祉関係住民（生活保護受給者、中国残留邦人、東日本大震災被災者等）に対する健康診査を実施し、受診率向上により生活習慣病重症化を防ぐ。							
	事業概要	40歳以上の生活保護受給者および「中国残留邦人等の円滑な帰国の推進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律」による支援給付対象者、東日本大震災被災者に「特定健康診査」及び「長寿健康診査」に準じた健康診査を行う。							
基礎データ （事業のための資産 利用者等の情報）	実施場所：豊島区医師会に委託 会員のうち本事業に申し込んだ医療機関（164か所） 実施期間：8月～11月（予備期間：12月～1月） 受診状況 元年度：975人（18.4%）、2年度：1,029人（19.5%）、3年度：908人（17.2%）								
事業目標の達成状況	成果指標 （事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度 目標（計画）	3年度 （実績）	4年度 （計画値）
		① 受診者数	↗	人	975	1,029	1,070	908	1,038
		② 受診率	↗	%	18.4	19.5	19.8	17.2	19.4
		③							
	指標の説明	①受診勧奨したうちで健診を受診した者の数 ②受診者数／受診勧奨者数							
	未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症の影響で受診控えがあったため					
事業の取組実績	3年度の取組内容 （3年度に実施した具体的な業務内容）	実施期間：8月～11月（予備期間：12月～1月） 実施場所：区内164医療機関 40歳以上の生活保護受給者および「中国残留邦人等の円滑な帰国の推進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律」による支援給付対象者、東日本大震災被災者に「特定健康診査」及び「長寿健康診査」に準じた健康診査を行う。 年度途中に対象となった方にも、ケースワーカーからの依頼により健診受診券を発行し、対象者に受診を勧奨した。							
	活動指標 （事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度 目標（計画）	3年度 （実績）	4年度 （計画値）
		① 受診勧奨件数	→	人	5,292	5,282	5,400	5,280	5,353
		②							
	③								
	指標の説明	①福祉健康診査対象者数							
	未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由						

2. 事業費の推移									
単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）		元年度	2年度	3年度		4年度			
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)	
事業費	A	14,483	16,375	16,914	14,442	85.4%	15,912	1,470	
人件費	【正規(人数)】	(0.30)	(0.30)	—	(0.30)		(0.30)	—	
	【会計年度任用職員等(人数)】			—				—	
	人件費 B	B	2,550	2,550	—	2,550		2,550	0
事業費(人件費含む)	C=A+B	17,033	18,925	—	16,992		18,462	1,470	
財源内訳	国、都支出金		5,412	5,790	5,412	4,765		6,806	2,041
	使用料・手数料	D							0
	地方債・その他								0
一般財源	E=C-D	11,621	13,135	—	12,227		11,656	-571	

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
ケースワーカーから受診勧奨を積極的に行っているものの、そもそも医療機関を受診したくない対象者が多いため、受診率がなかなか向上しない。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0801 - 08

事務事業名	特定健康診査・特定保健指導事業（一部国民健康保険事業会計）	担当組織	池袋保健所	地域保健課
-------	-------------------------------	------	-------	-------

事業特性				
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般
単独／補助	国・都補助＋区上乗せ事業	運営形態	全部業務委託	計画事業
事業を構成する予算事業	①【一般会計】特定健康診査区独自検査項目経費		②【国保会計】特定健康診査・特定保健指導事業経費	
計画事業No.	3	3	1	1

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち	政策	健康な生活の維持・増進	
施策	がん・生活習慣病対策等の推進	施策番号	3-3-1	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標 高齢になっても元気で住み続けられるまち
施策の目標	生活習慣病の発症及び重症化予防を推進します。			

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	豊島区国民健康保険加入者（40歳～74歳） 40,515人							
	事業の目的・期待する効果	受診率の向上により、自分自身の身体の健康保持、増進を心掛ける人を増やし、病気の早期発見、早期治療につなげることで医療費削減を図る。							
	事業概要	高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、40歳～74歳の豊島区国民健康保険被保険者を対象として、生活習慣病の予防に着目した特定健康診査及び特定保健指導を実施する。							
基礎データ（事業のための資産・利用者等の情報）	健診実施医療機関：豊島区医師会に委託しており、豊島区医師会会員のうち本事業に申し込んだ医療機関（168か所） 健診実施期間：6月～11月（予備期間：12月～1月）								
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	① 特定健康診査受診率（法定報告）		↗	%	37.2(39.6)	33.7(35.3)	49.0	35.0	50.0
	② 特定保健指導受診率（法定報告）		↗	%	20.0(19.2)	29.4(26.9)	37.0	26.3	40.0
	③								
指標の説明	①健診対象者に対する受診者の割合（国保離脱、途中転入等健診対象者の調整後の割合：国保連合会にて算出） ②保健指導対象者に対する保健指導終了者の割合（国保離脱、途中転入等健診対象者の調整後の割合：国保連合会にて算出）※ただし、当該年度は初回面接割合								
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	健診受診率は前年度より回復したものの、新型コロナウイルス感染症の影響でいずれの受診率も目標を下回ったため。						
事業の取組実績	3年度の取組内容	特定健診：誕生日4～7月（6～9月実施）、誕生日8～11月（7～10月実施）、誕生日12～3月（8～11月実施）、予備期間12～翌年1月。区内168医療機関で実施。 内容：問診、身体測定、血圧測定、診察、血液検査、尿検査、年齢により胸部X線、眼底検査、心電図検査、聴力検査（65歳のみ）を実施。保健指導：健診受診者のうち、特定保健指導対象者（積極的支援、動機づけ支援）には特定保健指導利用券を送付し、6ヶ月間の特定保健指導を実施。また、健診当日の血圧、腹囲やBMIの値から医療機関で初回面接を実施する当日保健指導を開始した。							
	活動指標（事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	① 特定保健指導対象者への勧奨通知数		↘	通	1,864	1,703	2,000	1,700	2,000
	② 特定健診未受診者への再勧奨通知数		↘	通	28,782	0	15,000	14,683	15,000
③ 特定健診未受診者への再勧奨電話数		↗	件	1,327	4,459	4,000	4,148	4,000	
指標の説明	①特定保健指導対象者に利用勧奨するため、対象者が減少し通知数が減少することが、健診後の未改善者が減少していることを示す。 ②2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で再勧奨中止したが、3年度は元年度以前と同様勧奨（未受診者中心に精査）を実施した。 ③特定健診受診を促す目的で勧奨を実施。2年度より留守番電話への録音を開始したことで、電話数が飛躍的に増加している。								
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	特定保健指導対象者の下げ止まり傾向、再勧奨の労力に比して受診数の大幅増につながっていないため						

2. 事業費の推移									
単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	元年度	2年度	3年度			4年度		増減 (R3決算比)	
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算			
事業費	A	231,637	205,522	280,105	212,202	75.8%	270,754	58,552	
人件費	【正規（人数）】	(1.20)	(1.25)	—	(1.60)		(1.60)	—	
	【会計年度任用職員等（人数）】		(0.30)	—	(0.30)		(0.30)	—	
人件費 B	B	10,200	11,705	—	14,680		14,680	0	
事業費（人件費含む）	C=A+B	241,837	217,227	—	226,882		285,434	58,552	
財源内訳	国、都支出金		117,398	110,112	86,185	105,717		99,933	-5,784
	使用料・手数料	D							0
	地方債・その他				1			1	1
一般財源	E=C-D	124,439	107,115	—	121,165		185,500	64,335	

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

新型コロナウイルス感染症の影響で引き続き受診控えの傾向がみられるため、医療機関では感染対策を万全に実施していること、疾病の早期発見による効果などをさらにアピールし、受診勧奨を拡大していきたい。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0801 - 10

事務事業名	骨粗しょう症検診事業	担当組織	池袋保健所	地域保健課
-------	------------	------	-------	-------

事業特性										
	事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画/一般	一般事業	計画事業No.			
	単独/補助	国・都補助+区上乘せ事業	運営形態	全部業務委託						
事業を構成する予算事業	① 骨粗しょう症検診事業経費				②					

政策体系（令和3年度基本計画）											
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち				政策	健康な生活の維持・増進					
施策	がん・生活習慣病対策等の推進				施策番号	3-3-1		関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標			高齢になっても元気で住み続けられるまち
施策の目標	生活習慣病の発症及び重症化予防を推進します。										

1. 事業の概要										
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳の豊島区民(女性のみ)								
	事業の目的・期待する効果	骨量低下のリスクがある年齢の女性が、積極的に骨粗しょう症検診を受診し、骨粗しょう症リスクの高い方を早期発見し、早期治療につなげる。また、将来のフレイル予防につなげる。								
	事業概要	40歳から70歳までの5歳ごとの節目年齢の女性に対し、骨密度測定を実施し、医師会の協力医療機関にて問診を含めた骨粗しょう症に対する総合診断と相談・指導を実施している。検診終了後、要指導、要医療になった者に対し、その後の様子を追跡調査する。								
基礎データ (事業のための資産 利用者等の情報)	対象者:40・45・50・55・60・65・70歳の女性区民(12,009人) 受診方法:①骨密度検査を受検(豊島健康診査センター)⇒②骨密度測定結果と問診票から診断(区内実施医療機関)(120か所)									
事業目標の達成状況	成果指標 (事業目標の達成度)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)	
		① 健康診査センター骨密度測定実施率	↗	%	22.0	20.3	20.0	21.0	21.0	
		② 検査した者のうち医療機関受診割合	↗	%	44.4	44.9	50.0	51.4	52.0	
	③									
指標の説明	①豊島健康診査センターで骨密度測定検査を受けた者/対象者 ②健診センターで検査した者のうち医療機関で診断を受けた者の割合									
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由								
事業の取組実績	活動指標 (事業の実施状況)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)	
		① 受診勧奨通知発送数	↗	件	12,619	12,175	12,000	11,895	11,900	
		② 骨粗しょう症検診受診者数	↗	人	2,778	2,476	2,500	2,500	2,500	
	③ 医療機関受診者数	↗	人	1,233	1,112	1,250	1,284	1,300		
指標の説明	①今年度対象基準抽出日に40、45、50、55、60、65、70歳である区民 ②豊島健康診査センターで骨密度測定検査を受けた者の数 ③骨密度測定結果を持参し、医療機関で診断を受けた者の数									
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由								

2. 事業費の推移									
単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)	元年度	2年度	3年度			4年度			
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減(R3決算比)		
事業費	A	11,216	10,220	12,739	10,819	84.9%	12,168	1,349	
人件費	【正規(人数)】	(0.20)	(0.20)	—	(0.20)		(0.20)	—	
	【会計年度任用職員等(人数)】			—				—	
	人件費B	B	1,700	1,700	—	1,700		1,700	0
事業費(人件費含む)	C=A+B	12,916	11,920	—	12,519		13,868	1,349	
財源内訳	国、都支出金		3,009	3,033	3,009	3,445		3,088	-357
	使用料・手数料	D							0
	地方債・その他								0
	一般財源	E=C-D	9,907	8,887	—	9,074		10,780	1,706

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

豊島健康診査センターで骨密度測定検査後に、医師会の協力医療機関での骨粗しょう症に対する総合診断と相談・指導を受けた受診者が50%を超えた。この機を逃さぬよう、受診勧奨通知で医療機関における適切な指導を受けるまでが重要であるなど記載し、対象者への働きかけを進めていきたい。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0801 - 11

事務事業名	後期高齢者医療事業健康診査関係事業（後期高齢者医療事業会計）	担当組織	池袋保健所	地域保健課
-------	--------------------------------	------	-------	-------

事業特性				
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般
単独／補助	国・都補助＋区上乗せ事業	運営形態	全部業務委託	計画事業
事業を構成する予算事業	① 健康診査関係経費	②		計画事業No. 3 - 3 - 1 - 1

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち	政策	健康な生活の維持・増進	
施策	がん・生活習慣病対策等の推進	施策番号	3-3-1	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標 高齢になっても元気で住み続けられるまち
施策の目標	生活習慣病の発症及び重症化予防を推進します。			

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	後期高齢者医療制度に加入する豊島区民							
	事業の目的・期待する効果	受診率の向上により、自分自身の身体の健康保持、増進を心掛ける人を増やし、病気の早期発見、早期治療につなげることで医療費削減を図る。							
	事業概要	高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、後期高齢者医療制度加入者を対象として、生活習慣病の予防に着目した長寿健康診査を実施する。							
基礎データ （事業のための資産 利用者等の情報）	健診実施期間：8月～11月（予備期間12月～1月） 健診実施医療機関：豊島区医師会に委託し、会員のうち本事業に申し込んだ医療機関（168か所）								
事業目標の達成状況	成果指標 （事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度 目標（計画）	3年度 （実績）	4年度 （計画値）
		① 長寿健康診査受診者数	↗	人	13,399	13,250	14,500	13,153	14,100
		② 長寿健康診査受診率	↗	%	49.0	48.1	52.0	48.2	52.0
		③							
	指標の説明	①長寿健康診査を区内医療機関で受診した者の数 ②長寿健康診査対象者のうち受診した者の割合							
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	勧奨者数減少で受診率がわずかながら上昇したものの、受診者数は年々減少している						
事業の取組実績	3年度の取組内容 （3年度に実施した具体的な業務内容）	区内在住の後期高齢者医療制度加入者に対して、各個人に受診券を送付し、契約医療機関168機関にて、長寿健康診査を実施。 健診内容：問診、身体測定、血圧測定、診察、血液検査、尿検査、胸部X線検査、および2年に1回眼底検査を実施。 また、医療機関に来られない区民については、希望により、医師訪問による受診も可。 3年度受診者数：13,153名（指導区分…異常なし290名・経過観察3,779名・要医療9,084名）							
	活動指標 （事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度 目標（計画）	3年度 （実績）	4年度 （計画値）
		① 長寿健康診査対象者への勧奨通知	↗	通	27,461	27,537	27,500	27,149	27,500
		②							
		③							
指標の説明	①長寿健康診査対象者のうち、健診拒否届の提出があった者を除く全員に受診券を送付。後期高齢者増により増加傾向にある								
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	75歳以上の後期高齢者は増加しているものの、被保険者の伸びが予想よりも伸びなかったため						

2. 事業費の推移									
単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	元年度	2年度	3年度			4年度		増減 （R3決算比）	
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算			
事業費	A	178,582	178,572	197,000	177,968	90.3%	191,957	13,989	
人件費	【正規（人数）】	(0.50)	(0.50)	—	(0.50)		(0.50)	—	
	【会計年度任用職員等（人数）】			—				—	
	人件費 B	B	4,250	4,250	—	4,250		4,250	0
事業費（人件費含む）	C=A+B	182,832	182,822	—	182,218		196,207	13,989	
財源内訳	国、都支出金							0	
	使用料・手数料	D						0	
	地方債・その他		81,374	86,559	90,045	85,990		87,561	1,571
	一般財源	E=C-D	101,458	96,263	—	96,228		108,646	12,418

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

今後高齢化の進展により、受診者数の増加や受診率向上が予想される。また、疾病の重症化予防の観点から、国保保健事業と同様に保健指導や生活習慣病予防事業の実施も考えられ、それらに見合う事業費の見直しが必要と考える。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0801 - 12

事務事業名	糖尿病重症化予防等医療費適正化事業（国民健康保険事業会計）	担当組織	池袋保健所	地域保健課
-------	-------------------------------	------	-------	-------

事業特性				
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般
単独／補助	国・都補助＋区上乗せ事業	運営形態	全部業務委託	
事業を構成する予算事業	① 糖尿病重症化予防等による医療費適正化事業経費			②
計画事業		計画事業No.	3 - 3 - 1 - 1	

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち	政策	健康な生活の維持・増進	
施策	がん・生活習慣病対策等の推進	施策番号	3-3-1	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標 高齢になっても元気で住み続けられるまち
施策の目標	生活習慣病の発症及び重症化予防を推進します。			

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	国保特定健康診査の結果、糖尿病予備群又は糖尿病高リスク者とされる40～74歳。周知は区民全員。								
	事業の目的・期待する効果	生活習慣病予防のうち、更に糖尿病に焦点を当て具体的に予防改善支援することで、重症化を防ぎ、健康的な生活を送ることができる人を増やす。ひいては健康寿命の延伸による医療費削減につながる。								
	事業概要	糖尿病の発症・重症化予防による医療費適正化を目的に、糖尿病予防のための保健指導と糖尿病高リスク者の医療機関への受診勧奨支援を実施。3年度からは糖尿病性腎症重症化予防事業として、早期腎症期の保健指導を開始。また、広く区民に対しては、糖尿病を知ってもらうため糖尿病特集号を発行している。								
基礎データ（事業のための資産利用者等の情報）	国保特定健康診査の結果、糖尿病予備群又は糖尿病高リスク者とされる40～74歳。周知は区民全員。									
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
		① 糖尿病予防保健指導対象者割合	↘	%	22.4	12.9	12.0	15.4	11.5	
		② 糖尿病高リスク者受診勧奨対象者割合	↘	%	6.2	3.8	3.6	4.4	3.5	
		③ 特定健診受診者HbA1c平均値	↘	%	5.968	5.828	5.820	5.875	5.800	
	指標の説明	①特定健診実施者（40～74歳）に対する糖尿病予備群保健指導対象者の割合（糖尿病予備分保健指導対象者数/40～74歳特定健診受診者数） ②特定健診受診者（40～74歳）に対する糖尿病が強く疑われる者の割合（糖尿病が強く疑われる者の数/40～74歳特定健診受診者数） ③特定健診受診者全体のHbA1cの平均値								
	未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由 新型コロナウイルス感染症による各種活動自粛の影響からか、HbA1c平均値が2年度より上がってしまったため。							
事業の取組実績	3年度の取組内容	国保特定健診受診者の健診結果に応じて、以下の3つの事業を実施した。 ①HbA1c値が6.0～6.4%で糖尿病薬未服薬、かつ特定保健指導の対象でない者について、豊島健康診査センターに委託して、集団指導及び6ヶ月間の個別相談を実施（豊島健康診査センターに委託）。 ②HbA1cが6.5%以上で糖尿病薬未服薬の者について、アンケート形式の医療機関受診状況調査および専門職からの電話による医療機関受診勧奨および保健指導を実施（直営）。 ③糖尿病薬服薬またはインスリン注射を使用していて、腎機能が低下している可能性がある方を対象にアルブミン尿検査を実施、早期腎症期と判定された方に、専門職による保健指導を実施（直営）。								
	活動指標（事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
		① 糖尿病予防のための保健指導初回指導実施率	↗	%	14.5	16.1	17.0	14.6	17.5	
		② 医療機関受診状況を確認できた者の割合	↗	%	73.9	87.4	80.0	93.1	85.0	
	③ 糖尿病性腎症 尿アルブミン検査実施数	↗	件	-	-	176	167	400		
	指標の説明	①糖尿病予備群を対象とした保健指導初回面接率（初回面接数/対象者数） ②糖尿病が強く疑われる者の受診勧奨できた割合（調査および電話での返事があった者の数/受診勧奨対象者数） ③早期腎症期が疑われる者に対する尿アルブミン検査実施数								
	未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由 受診状況が確認できた者が順調に増加しているが、新型コロナウイルス感染症の影響が長引き、初回指導実施率が目標を下回ったばかりか、2年度よりも低下してしまったため。							

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	元年度	2年度	3年度			4年度			
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減（R3決算比）		
事業費	A	20,605	13,071	27,139	16,592	61.1%	23,825	7,233	
人件費	【正規（人数）】	(1.35)	(1.30)	—	(1.65)		(1.65)	—	
	【会計年度任用職員等（人数）】		(0.35)	—	(0.35)		(0.35)	—	
	人件費 B	B	11,475	12,310	—	15,285		15,285	0
事業費（人件費含む）	C=A+B	32,080	25,381	—	31,877		39,110	7,233	
財源内訳	国、都支出金		13,539	15,175	10,621	18,332		7,012	-11,320
	使用料・手数料	D							0
	地方債・その他		898						0
	一般財源	E=C-D	17,643	10,206	—	13,545		32,098	18,553

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

糖尿病性腎症重症化予防事業については、初年度としては目標値に近い実績となった。早期腎症期対象者に対し、高額な医療費がかかる人工透析導入に至らぬよう生活改善の介入を行うことで、ひいては国保医療費全体の削減につなげられるよう積極的に事業を進めていく所存である。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0801 - 13

事務事業名	眼科検診事業	担当組織	池袋保健所	地域保健課
-------	--------	------	-------	-------

事業特性				
事業開始年度	30年度	事業終了年度		計画／一般
単独／補助	区単独事業	運営形態	全部業務委託	計画事業
事業を構成する予算事業	① 眼科検診経費			計画事業No. 3 - 3 - 1 - 4
			②	

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち	政策	健康な生活の維持・増進	
施策	がん・生活習慣病対策等の推進	施策番号	3-3-1	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標 高齢になっても元気で住み続けられるまち
施策の目標	生活習慣病の発症及び重症化予防を推進します。			

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	45歳、55歳の区民（45歳4,579人、55歳3,652人）							
	事業の目的・期待する効果	45歳、55歳に眼科検診を導入し、緑内障、加齢黄斑変性症、糖尿病網膜症等の眼科疾患の早期発見、早期治療を目的とし、生活習慣病全体の予防と健康保持増進に努める。							
	事業概要	45歳、55歳の区民を対象に区内医療機関において眼科検診を実施する。							
基礎データ （事業のための資産 利用者等の情報）	検査内容：視力検査（屈折検査、矯正視力検査）、細隙灯顕微鏡検査、精密眼圧検査、精密眼底検査、眼底カメラ 実施医療機関：豊島区医師会所属の30眼科医院								
事業目標の達成状況	成果指標 （事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 眼科検診受診率（全体）	↗	%	5.8	4.2	10.0	3.6	10.0
		②							
		③							
	指標の説明	①対象者全体に対する受診者の割合							
	未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症の影響により健康診査受診者数が伸び悩んだこと、周知が不足したため					
事業の取組実績	3年度の取組内容 （3年度に実施した具体的な業務内容）	対象者（45歳4,579人、55歳3,652人）のうち、特定健診対象者には眼科検診案内を同封、特定健診と同時受診可能としている。個別申し込みがあった場合は、眼科検診受診券を発行している。							
	活動指標 （事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 検診対象者数	→	人	8,289	8,534	8,500	8,231	8,200
		② 検診受診者数	↗	人	482	358	540	296	515
	③								
	指標の説明	①45・55歳の対象者数 ②眼科検診受診者数（健診同時実施と単独実施の合計）							
	未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症の影響により健康診査受診者数が伸び悩んだこと、周知が不足したため					

2. 事業費の推移								
単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）		元年度	2年度	3年度			4年度	
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 （R3決算比）
事業費	A	5,140	3,865	6,086	4,002	65.8%	5,580	1,578
人件費	【正規（人数）】	(0.10)	(0.10)	—	(0.10)		(0.10)	—
	【会計年度任用職員等（人数）】			—				—
	人件費 B	B	850	850	—	850		850
事業費（人件費含む）	C=A+B	5,990	4,715	—	4,852		6,430	1,578
財源内訳	国、都支出金							0
	使用料・手数料	D						0
	地方債・その他							0
	一般財源	E=C-D	5,990	4,715	—	4,852		6,430

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

健康診査と同時受診出来る医療機関が非常に限定され、紹介を受けても眼科検診受診につながらないことが多い。23区でも数区しか実施していない特色のある検診であることをさらに周知するとともに、健診実施医療機関近隣の眼科への案内図作成などを豊島区医師会と協議し、受診率向上を図る。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0801 - 15

事務事業名	食育の推進	担当組織	池袋保健所	地域保健課
-------	-------	------	-------	-------

事業特性				
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般
単独／補助		運営形態		計画事業
事業を構成する予算事業	① 食育推進事業経費		②	計画事業No. 3 - 3 - 2 - 8

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち	政策	健康な生活の維持・増進	
施策	こころと体の健康づくりの推進【重点】	施策番号	3-3-2	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標 高齢になっても元気で住み続けられるまち
施策の目標	生活習慣の改善と運動習慣の定着、また歯と口腔の自己管理による豊かな食生活を送れる人の増加など、ライフステージに応じた健康づくりを推進します。			

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	全区民							
	事業の目的・期待する効果	食を通じて、健康なこころとからだを自ら作る区民を増やす。							
	事業概要	区民の食に関する意識を高めるために、イベント・講座・食のコンクールを開催し、食に関しての情報を広く周知する。							
基礎データ（事業のための資産・利用者等の情報）	食育講座（大人、子ども）、食育講演会、としま豊かな食コンクール開催（小中学生：調べ学習、高校生：メニュー）、食育イベントの開催、食育情報発信のためのコンクール入賞作品集印刷および配布								
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	① 食育講座・コンクール・イベントの参加者数		↗	人	768	121	700	592	1,000
	②								
	③								
	指標の説明	①食育推進事業経費実施分の食育講座、コンクール、イベントの参加者合計数。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、食育イベント（子どもの料理教室、食育フェア）が中止となり、2年度と比較し参加者数は増加したものの目標には届かなかった。							
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	食育イベントの中止により思うように参加者数が伸びなかったため。						
事業の取組実績	3年度の取組内容	食育講座（大人）⇒街の巨匠に学ぶ「忙しい朝におすすめ！かんたん野菜料理」動画上映・配信（上映2回57名） としま豊かな食コンクール（小中学生）…『病気に負けない体をつくる！“早起き・早寝・朝ごはん”を調べてみよう！』（応募135点） としま豊かな食コンクール（高校生）…『野菜を使った簡単朝ごはん』（応募38点） 入賞作品集9,400部印刷し、区立小中学校（小学3年生～中学3年生）全児童生徒およびコンクール参加高校生に配布 ※コンクール表彰式、食育フェア、としま青果市場まつりブース出展については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止							
	活動指標（事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	① 食育講座・コンクール・イベントの回数		↗	回	8	4	7	5	8
	②								
	③								
指標の説明	①食育推進事業経費実施分の食育講座、コンクール、イベントの開催企画数。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、食育イベント（子どもの料理教室、食育フェア）が中止となった。								
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症の影響で開催中止が相次いだため。						

2. 事業費の推移									
単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）		元年度	2年度	3年度			4年度		
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減（R3決算比）	
事業費	A	1,143	978	1,219	993	81.5%	1,218	225	
人件費	【正規（人数）】	(0.80)	(0.75)	—	(0.75)		(0.75)	—	
	【会計年度任用職員等（人数）】		(0.25)	—	(0.25)		(0.25)	—	
	人件費 B	B	6,800	7,275	—	7,275		7,275	0
事業費（人件費含む）	C=A+B	7,943	8,253	—	8,268		8,493	225	
財源内訳	国、都支出金		481	485	558	496		608	112
	使用料・手数料	D							0
	地方債・その他								0
	一般財源	E=C-D	7,462	7,768	—	7,772		7,885	113

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、例年どおりの事業展開に戻すよう検討していく。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0801 - 16

事務事業名	歯周病検診事業	担当組織	池袋保健所	地域保健課
-------	---------	------	-------	-------

事業特性										
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	計画事業	計画事業No.	3	3	2	10
単独／補助	国・都補助＋区上乗せ事業	運営形態	全部業務委託							
事業を構成する予算事業	① 歯周病検診事業経費			②						

政策体系（令和3年度基本計画）									
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち			政策	健康な生活の維持・増進				
施策	がん・生活習慣病対策等の推進			施策番号	3-3-1	関連する「まち・ひととしご創生総合戦略」の基本目標 高齢になっても元気で住み続けられるまち			
施策の目標	生活習慣病の発症及び重症化予防を推進します。								

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	歯周病検診:40、45、50、55、60、65、70、75歳の区民 高齢者歯科健診:76・78・80・82・84歳の区民								
	事業の目的・期待する効果	歯周病検診:口腔ケアを気にして歯周病にならないためのチェックやメンテナンスを積極的に行う区民を増やす 高齢者歯科健診:口腔機能低下によるフレイルを予防し、いつまでも健康な状態で生活を送る								
	事業概要	歯周病検診:40～75歳の5歳刻み年齢の区民を対象に実施。検診後の判定で要指導、要治療の方にその後の追跡調査を行う。 高齢者歯科健診:76～84歳の2歳刻み年齢の区民を対象に実施。検診後の判定で要指導、要治療、要精検の方に、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業として高齢者福祉課でのフォローアップを行う。								
基礎データ（事業のための資産・利用者等の情報）	対象医療機関:東京都豊島区歯科医師会に委託しており、加入医療機関のうち本事業に申し込みをした医療機関で実施。 (歯周病検診118か所、高齢者歯科健診97か所)									
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度 目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
	① 受診者数		↗	人	2,455	2,264	3,713	3,295	3,569	
	② 受診率		↗	%	8.0	7.7	11.1	9.4	11.0	
	③ 追跡調査回答率		↗	%	56.2	63.5	60.0	56.6	65.0	
指標の説明	①歯周病検診受診者数(3年度からは高齢者歯科健診受診者数も合算) ②歯周病検診受診者/検診対象者数(3年度からは高齢者歯科健診受診者数も合算) ③歯周病検診 追跡調査回答数/検診結果で追跡調査対象者になった数									
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	高齢者歯科健診は目標の受診率10%を達成したが、歯周病検診のうち若年層の受診率が伸び悩んでおり、それに伴い、歯周病検診での追跡調査回答率も低下してしまっただけ。							
事業の取組実績	3年度の取組内容	3年度拡充事業として、高齢者歯科健診を開始した。 歯周病検診、高齢者歯科健診を区民に広めるためリーフレット、ポスターを作成、実施医療機関および区施設に設置。 対象者全員に受診券を個別発送。 歯周病検診:7～11月、118の歯科医療機関で実施。要指導、要治療の方へ追跡調査を実施、結果を東京都へ報告。 高齢者歯科健診:7～11月、97の歯科医療機関で実施。要指導、要治療、要精検の方へ高齢者福祉課でのフォローアップ事業を実施。								
	活動指標（事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度 目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
	① 受診券送付数		→	通	30,780	29,497	43,600	37,055	39,277	
	②									
③										
指標の説明	①対象者全員に個別発送。人口が増えない限り数は現状維持。(3年度からは高齢者歯科健診送付数も合算)									
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	高齢者歯科健診対象者を過大に見積もったことで、実績値と大きな差異が生じたため							

2. 事業費の推移

単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)	元年度	2年度	3年度			4年度			
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減(R3決算比)		
事業費	A	20,669	19,374	29,496	24,823	84.2%	27,702	2,879	
人件費	【正規(人数)】	(0.30)	(0.30)	—	(0.50)		(0.50)	—	
	【会計年度任用職員等(人数)】			—				—	
	人件費 B	B	2,550	2,550	—	4,250		4,250	0
事業費(人件費含む)	C=A+B	23,219	21,924	—	29,073		31,952	2,879	
財源内訳	国、都支出金		4,463	4,373	6,412	6,473		5,666	-807
	使用料・手数料	D							0
	地方債・その他								0
	一般財源	E=C-D	18,756	17,551	—	22,600		26,286	3,686

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

高齢者歯科健診については、今後高齢化の進展や関心の高まり等により受診率が向上することが見込まれるため、それらに応じた事業費計上を検討する。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0801 - 17

事務事業名	薬物乱用防止推進事業等助成事業	担当組織	池袋保健所	地域保健課
-------	-----------------	------	-------	-------

事業特性										
	事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	一般事業	計画事業No.			
	単独／補助	国・都補助＋区上乗せ事業	運営形態	直営						
事業を構成する予算事業	① 薬物乱用防止推進等助成経費				②					

政策体系（令和3年度基本計画）										
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち				政策	健康な生活の維持・増進				
施策	健康危機管理の強化				施策番号	3-3-3 関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標				
施策の目標	新型インフルエンザ等の感染拡大防止や災害医療体制・保健衛生体制の構築など、健康危機への対応を強化します。									

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	保健衛生事業に係る区内活動団体等								
	事業の目的・期待する効果	各種団体への助成金等の交付により活動を支援することで、薬物乱用の根絶を図る。また、地域医療体制の充実と向上を図る。								
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○東京都薬物乱用防止推進豊島地区協議会及び東京都歯科技工士会豊島支部に対する区民活動支援事業補助金の交付による活動支援 ○豊島区救急業務連絡事業に対する助成金の交付による事業支援 ○公益社団法人豊島区薬剤師会に対する「使用済み注射針回収事業」、「お薬手帳発行事業」に係る助成金の交付。及び薬剤師会運営活動補助金の交付による活動支援 								
基礎データ（事業のための資産・利用者等の情報）	<ul style="list-style-type: none"> ・全国及び東京都における薬物乱用状況 全国の検挙人員 ⇒ 令和元年度:14,169人、令和2年度:14,120人(増減率-0.3%) 東京都の検挙人員 ⇒ 令和元年度:2,225人、令和2年度:2,498人(増減率+12.3%) ・令和3年度の区内救急活動出場件数: 豊島消防署11,141件(2年度比+483件)、池袋消防署10,907件(2年度比+274件) 									
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)	
		① 薬物乱用防止普及啓発活動の実施回数	→	回	22	8	4	4	8	
		② お薬手帳発行数	→	冊	2,929	2,929	2,000	2,000	2,000	
		③ 骨髄移植提供者件数	→	件	1	2	3	4	3	
	指標の説明	指標のとおり								
	未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							
事業の取組実績	3年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各保健衛生事業活動団体への助成金等の交付による活動支援を行った。東京都薬物乱用防止推進豊島地区協議会の活動支援として、豊島情報スクエアへの出演、中学生を対象とした薬物乱用防止啓発ポスター、標語の募集の支援を行った。また、豊島区救急業務連絡協議会が実施する区民公開講座の開催に係る会場の提供、区内教育機関や施設への講座開催周知等の支援を実施。 								
	活動指標（事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)	
		① 区民活動支援事業補助金交付額(薬物乱用防止)	→	千円	153	160	160	76	160	
		② 助成金交付額(お薬手帳発行事業)	→	千円	130	130	130	130	130	
		③ 奨励金交付額(提供者＋事業所)	→	千円	140	280	630	560	630	
	指標の説明	①東京都薬物乱用防止推進豊島地区協議会が薬物乱用防止の活動のために交付を受ける区民活動支援事業補助金の交付額 ②お薬手帳発行事業に係る助成金③骨髄・抹消血拴細胞提供者(ドナー)及びドナーが従事する事業所に対する助成								
	未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由 新型コロナウイルス感染防止のため、活動を縮小したため。							

2. 事業費の推移

単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)		元年度	2年度	3年度			4年度		
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減(R3決算比)	
事業費	A	5,200	6,647	7,039	6,692	95.1%	7,249	557	
人件費	【正規(人数)】	(0.40)	(0.40)	—	(0.25)		(0.40)	—	
	【会計年度任用職員等(人数)】			—	(0.03)			—	
	人件費 B	B	3,400	3,400	—	2,233		3,400	1,167
事業費(人件費含む)	C=A+B	8,600	10,047	—	8,925		10,649	1,724	
財源内訳	国、都支出金		315	315	315	315		420	105
	使用料・手数料	D							0
	地方債・その他								0
	一般財源	E=C-D	8,285	9,732	—	8,610		10,229	1,619

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

安心・安全なまちづくりと健康危機管理を強化するために、各団体自主的な活動の貢献度は高く、その活動を更に促進するための行政支援は必要である。各保健衛生事業実施団体に対する補助金等の交付のみならず、区の事業とタイアップ等、活動の場の提供に努めている。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0801 - 19

事務事業名	障害者等歯科診療事業	担当組織	池袋保健所	地域保健課
-------	------------	------	-------	-------

事業特性					
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	計画事業
単独／補助	区単独事業	運営形態	全部業務委託	計画事業No.	3 - 3 - 4 - 1
事業を構成する予算事業	① 障害者等歯科診療事業経費			②	

政策体系（令和3年度基本計画）					
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち		政策	健康な生活の維持・増進	
施策	地域医療体制の充実		施策番号	3-3-4 <small>関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標</small> 高齢になっても元気で住み続けられるまち	
施策の目標	区民の誰もが安心して在宅で医療を受けることができる仕組みづくりを推進します。				

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象 (具体的に記載)	訪問診療…在宅の要介護高齢者、介護施設入所者 あぜりあ歯科診療所…心身に障害のある方および要介護高齢者で通院可能な方							
	事業の目的・期待する効果	豊島区民全体の歯と口腔の健康づくり事業を積極的に推進、区民の口腔状態を良好に保つ							
	事業概要	在宅の要介護高齢者や介護施設に対する訪問診療の他、心身に障害のある方および要介護高齢者で通院可能な方を対象にあぜりあ歯科診療所にて診療を実施。							
基礎データ <small>(事業のための資産利用者等の情報)</small>	事業内容: 障害者歯科診療、在宅高齢者訪問診療、高齢者施設口腔保健指導 委託先: 東京都豊島区歯科医師会 拠点: あぜりあ歯科診療所(池袋保健所1F)								
事業目標の達成状況	成果指標 <small>(事業目標の達成度)</small>	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)	3年度(実績)	4年度(計画)
	①	利用者数(訪問・あぜりあ・口腔保健指導等)	↗	人	8,640	8,634	9,000	8,878	9,000
	②								
	③								
指標の説明	① 上記委託契約内で行う事業の総利用者数(実人数)								
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、受診控えがなかなか回復しない状況にあるため						
事業の取組実績	3年度の取組内容 <small>(3年度に実施した具体的な業務内容)</small>	池袋保健所内にあるあぜりあ歯科診療所を拠点に、訪問による在宅の要介護高齢者や介護施設での診療や口腔ケア、心身に障害のある方および要介護高齢者で通院可能な方を対象にした来所による診療を実施。 3年度利用者数内訳(実人数): 高齢者訪問歯科診療2,207人、あぜりあ歯科診療1,045人、摂食・嚥下指導訓練64人、施設診療2,214人、施設口腔ケア3,220人、介護予防128人							
	活動指標 <small>(事業の実施状況)</small>	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)	3年度(実績)	4年度(計画)
	①	口腔保健センター事業業務委託経費	→	千円	40,887	40,739	40,739	40,739	40,739
	②								
③									
指標の説明	① 本事業委託経費額								
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							

2. 事業費の推移								
単位 <small>(金額の項目: 千円 人数の項目: 人)</small>	元年度	2年度	3年度			4年度		
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)	
事業費	A	40,887	40,739	40,739	40,739	100.0%	40,739	0
人件費	【正規(人数)】	(0.20)	(0.20)	—	(0.20)		(0.20)	—
	【会計年度任用職員等(人数)】			—				—
	人件費 B	B	1,700	1,700	—	1,700		1,700
事業費(人件費含む)	C=A+B	42,587	42,439	—	42,439		42,439	0
財源内訳	国、都支出金							0
	使用料・手数料	D						0
	地方債・その他							0
	一般財源	E=C-D	42,587	42,439	—	42,439		42,439

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
目標については概ね達成できている。あぜりあ歯科診療所については、高齢化の進展や仮移転により駐車場が広く確保できていることなどから、今まで以上に通院可能な方の受け入れを拡大するなど、時代に見合った事業内容の検討により、適正な事業費による運営を目指す。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0801 - 20

事務事業名	在宅医療連携推進会議・在宅医療相談窓口事業	担当組織	池袋保健所	地域保健課
-------	-----------------------	------	-------	-------

事業特性				
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般
単独／補助	国・都補助事業	運営形態	一部業務委託	計画事業
事業を構成する予算事業	① 在宅医療推進関係事業経費	② 在宅医療連携推進会議・在宅医療相談窓口事業経費	計画事業No.	3 - 3 - 4 - 97

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち	政策	健康な生活の維持・増進	
施策	地域医療体制の充実	施策番号	3-3-4	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標 高齢になっても元気で住み続けられるまち
施策の目標	区民の誰もが安心して在宅で医療を受けることができる仕組みづくりを推進します。			

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	在宅療養を希望する区民							
	事業の目的・期待する効果	在宅療養を希望する区民を適切に支援できる医療・介護従事者により、顔の見える連携が推進され、誰もが安心して在宅医療を受けることができる。							
	事業概要	医療や介護が必要な人が身近な場所で適切なサービスが受けられる仕組みづくりと医療連携体制の構築を目的として、在宅医療連携推進会議及び部会を開催する。在宅医療相談窓口を設置し、在宅医療を支える多職種の連携体制を構築する。また、研修事業等の開催により、関係スタッフのレベルアップを図る。さらに、在宅療養に関する区民公開講座を開催し、かかりつけ医制度及び在宅療養に関する知識の向上と促進を図る。							
基礎データ（事業のための資産・利用者等の情報）	要支援・要介護認定者数 11,890人（令和2年度末時点）								
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	① 区民公開講座参加者数	↗	人	300	不明	350	0	250	
	② 在宅医療相談窓口コーディネート数	↗	件	1772	1918	1950	1650	1950	
	③ 在宅医療コーディネーター研修修了者数	↗	人	10	7	25	8	12	
	指標の説明	①区民公開講座の参加者数（令和2年度はとしまテレビで放送したため、参加者数は不明とした） ②在宅医療相談窓口で他機関等と連携・調整した実数 ③在宅医療コーディネーター研修の修了者数（令和元年度、4年度は上級編を実施）							
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症の影響で区民公開講座が開催されなかったため						
事業の取組実績	3年度の取組内容	地域の医療・介護関係者が切れ目なく在宅医療と在宅介護が一体的に提供される体制の構築に向けて在宅医療連携推進会議や医療・介護関係の多職種が合同で参加する各種研修会、在宅医療関係者交流会を行った。豊島区医師会に委託し在宅医療相談窓口を設置し、医療と介護の専門知識を持つ相談員（医療ソーシャルワーカー）が相談を受けいている。							
	活動指標（事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	① 区民公開講座開催回数	→	回	3	1	4	0	4	
	② 在宅医療相談窓口相談件数	→	件	5526	6680	5500	5990	5600	
	③ 在宅医療コーディネーター研修参加者数	↗	人	11	10	25	12	12	
指標の説明	①区民公開講座の開催回数 ②在宅医療相談窓口で対応した件数 ③在宅医療コーディネーター研修参加者数（令和元年度、4年度は上級編を実施）								
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症の影響で区民公開講座が開催されなかったため						

2. 事業費の推移									
単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）		元年度	2年度	3年度			4年度		
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減（R3決算比）	
事業費	A	33,540	28,959	36,174		0.0%	33,931	33,931	
人件費	【正規（人数）】	(1.20)	(0.80)	—	(1.00)		(1.00)	—	
	【会計年度任用職員等（人数）】			—				—	
	人件費 B	B	10,200	6,800	—	8,500		8,500	0
事業費（人件費含む）	C=A+B	43,740	35,759	—	8,500		42,431	33,931	
財源内訳	国、都支出金		19,979	16,527	17,359	13,917		16,244	2,327
	使用料・手数料	D							0
	地方債・その他		8,371	8,112	9,295	8,287		9,228	941
	一般財源	E=C-D	15,390	11,120	—	-13,704		16,959	30,663

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
 令和2年12月の「豊島区健康に関する意識調査」によると、長期の療養が必要になった場合、在宅療養を希望すると回答した区民の割合は44.4%であり、思わないと回答した30.0%を超えており、区民ニーズは高い。区民が安心して在宅医療を受けられる仕組み作りのため、三師会（医師会、歯科医師会、薬剤師会）及び看護師会と連携して在宅医療相談窓口を拠点とした多職種による顔の見える連携を構築している。在宅医療相談窓口は豊島区在宅医療・介護連携の特色のひとつであり、区民からのアクセスの第一歩として非常に重要な拠点である。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0801 - 21

事務事業名	休日診療・夜間小児初期救急診療事業	担当組織	池袋保健所	地域保健課
-------	-------------------	------	-------	-------

事業特性				
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度	計画／一般	計画事業
単独／補助	国・都補助＋区上乗せ事業	運営形態	全部業務委託	計画事業No. 3 - 3 - 3 - 3
事業を構成する予算事業	① 休日診療経費		② 夜間小児初期救急診療経費	

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち	政策	健康な生活の維持・増進	
施策	地域医療体制の充実	施策番号	3-3-4 関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標	
施策の目標	適切な医療情報を区民に提供するとともに、休日や夜間を含め、誰もが安心して身近な医療機関で治療が受けられる環境・体制を整備します。			

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民等							
	事業の目的・期待する効果	休日・夜間に関わらず、区民の誰もが安心して身近な医療機関で治療を受けられる環境・体制を整備する。							
	事業概要	三師会への委託により、土日、祝日、年末年始に休日診療を実施（医科・歯科・調剤）。また、平日の午後8時～11時に、都立大塚病院において、15歳までの方を対象として、平日準夜間小児初期救急診療事業を実施（小児科）。令和元年10月1日より、平日小児初期救急診療は文京区との共同運営事業となった。							
基礎データ（事業のための資産・利用者等の情報）	平日準夜間小児初期救急診療事業利用者の住所別割合：豊島区43.6%、文京区43.9%、板橋区0.9%、北区5.3%、その他6.4%								
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 休日診療受診者数（医科）	→	人	6239	1100	1936	1187	748
		② 休日歯科診療所受診者数	→	人	354	229	312	243	182
	③ 平日準夜間小児初期救急受診者数	→	人	562	241	449	342	325	
指標の説明									
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルスのため患者数が減少した。						
事業の取組実績	3年度の取組内容	三師会、都立大塚病院への事業委託。 平日準夜間小児初期救急診療事業については、令和元年10月1日より文京区と共同実施。年に1回委託先である医師会、都立大塚病院、豊島区、文京区の4者で運営協議会を開催し、良好な協力体制と、円滑な事業実施につなげた。							
	活動指標（事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 休日診療所の開設（医科）	→	日	77	73	73	73	73
		② 平日準夜間小児初期救急の開設	→	日	240	242	241	241	242
③									
指標の説明									
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）		元年度	2年度	3年度			4年度	
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減（R3決算比）
事業費	A	76,535	77,578	79,830	78,250	98.0%	80,813	2,563
人件費	【正規（人数）】	(0.40)	(0.40)	—	(0.20)		(0.40)	—
	【会計年度任用職員等（人数）】			—	(0.10)			—
	人件費 B	B	3,400	3,400	—	2,060		3,400
事業費（人件費含む）	C=A+B	79,935	80,978	—	80,310		84,213	3,903
財源内訳	国、都支出金	2,756	2,002	1,886	1,894		1,878	-16
	使用料・手数料							0
	地方債・その他							0
一般財源	E=C-D	77,179	78,976	—	78,416		82,335	3,919

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
 本事業は、休日・夜間に関わらず、区民が安心して身近な医療機関で治療を受けられる取り組みであり、区民にとって重要なセーフティネットの役割を果たしている。豊島区・文京区と三師会、都立大塚病院との連携体制も構築されており、事業運営に係る課題についても、随時対応できる仕組みができています。引き続き、区民の誰もが安心して医療サービスを受けられる環境および体制を維持・整備するとともに、運営協議会や研修による各機関との連携を密にし、充実を図る。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0801 - 22

事務事業名	在宅歯科医療相談窓口事業	担当組織	池袋保健所	地域保健課
-------	--------------	------	-------	-------

事業特性										
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	計画事業	計画事業No.	3	3	4	98
	単独／補助	国・都補助事業	運営形態	全部業務委託						
事業を構成する予算事業	① 在宅歯科医療相談窓口事業経費			②						

政策体系（令和3年度基本計画）										
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち			政策	健康な生活の維持・増進					
施策	地域医療体制の充実			施策番号	3-3-4		関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標			高齢になっても元気で住み続けられるまち
施策の目標	区民の誰もが安心して在宅で医療を受けることができる仕組みづくりを推進します。									

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	在宅での診療を希望する区民								
	事業の目的・期待する効果	歯科相談窓口が在宅歯科・口腔医療連携の窓口となり在宅患者に対する歯科・口腔医療サービスの適切な提供に結びつけることで、在宅患者の歯と口腔の状態を改善し、良好な状態に保つ。								
	事業概要	医療や介護が必要な人が身近な場所で適切なサービスが受けられる仕組みづくりと医療連携体制の構築を目的として歯科相談窓口を設置する。								
基礎データ （事業のための資産 利用者等の情報）	要支援・要介護認定者数 11,890人（令和2年度末時点）									
事業目標の達成状況	成果指標 （事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度 目標（計画）	3年度 （実績）	4年度 （計画値）	
		① 歯科相談窓口コーディネート数	↗	件	158	182	200	204	200	
		②								
	指標の説明	①在宅歯科相談窓口で他機関等と連携・調整した件数								
	未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							
事業の取組実績	3年度の取組内容 （3年度に実施した具体的な業務内容）	豊島区歯科医師会に委託し歯科相談窓口を設置し、区内の一般歯科診療が困難な有病者や障害者の方の歯科・口腔ケアについての相談を受けている。								
	活動指標 （事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度 目標（計画）	3年度 （実績）	4年度 （計画値）	
		① 歯科相談窓口業務件数	↗	件	1132	1307	1200	1536	1300	
		②								
	指標の説明	①在宅歯科相談窓口で相談者に対応した件数								
	未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）		元年度	2年度	3年度			4年度		
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)	
事業費	A	6,462	6,517	6,517	6,517	100.0%	6,517	0	
人件費	【正規(人数)】	(0.20)	(0.10)	—	(0.10)		(0.10)	—	
	【会計年度任用職員等(人数)】			—				—	
	人件費 B	B	1,700	850	—	850		850	0
	事業費(人件費含む) C=A+B	8,162	7,367	—	7,367		7,367	0	
財源内訳	国、都支出金		3,732	3,764	3,764		3,764	0	
	使用料・手数料	D						0	
	地方債・その他		2,730	2,753	2,753	2,753		2,753	0
	一般財源 E=C-D		1,700	850	—	850		850	0

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
 令和2年12月の「豊島区健康に関する意識調査」によると、長期の療養が必要になった場合、在宅療養を希望すると回答した区民の割合は44.4%であり、思わないと回答した30.0%を超えており、区民ニーズは高い。在宅歯科相談窓口は豊島区在宅医療・介護連携の特色のひとつであり、区民からのアクセスの第一歩として非常に重要な拠点である。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0801 - 23

事務事業名	健康プラン推進事業	担当組織	池袋保健所	地域保健課
-------	-----------	------	-------	-------

事業特性										
事業開始年度	26年度以前		事業終了年度		計画／一般	一般事業	計画事業No.			
単独／補助	国・都補助事業		運営形態	一部業務委託						
事業を構成する予算事業	① 健康プラン推進事業経費				②					

政策体系（令和3年度基本計画）									
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち				政策	健康な生活の維持・増進			
施策	ところと体の健康づくりの推進【重点】				施策番号	3-3-2 <small>関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標</small>			
施策の目標	生活習慣の改善と運動習慣の定着、また歯と口腔の自己管理による豊かな食生活を送れる人の増加など、ライフステージに応じた健康づくりを推進します。								

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民							
	事業の目的・期待する効果	健康づくりの分野で、区がどういった取り組みを進めていくのか方向づけを行い、区民に具体的な方針を示すこと。							
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 健康プランの進捗状況管理及び改訂 区民に対する健康に関する意識調査を実施（健康プラン中間年度及び最終年度の前年度に実施） 							
基礎データ（事業のための資産、利用者等の情報）	健康に関する意識調査								
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	①	自分を健康である（まあ健康である）と感じる人	↗	%	83.3	82.9	84.0	82.9	84.0
	②								
	③								
	指標の説明	健康に関する意識調査の結果、自分を「健康である」または「まあ健康である」と回答した割合							
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	期待していた回答が得られなかったため						
事業の取組実績	3年度の取組内容	健康プラン改定年度または健康に関する意識調査実施年度ではないため、特になし							
	3年度に実施した具体的な業務内容								
	活動指標（事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	①	健康プランの改定	→	件	0	0	0	0	0
	②	健康に関する意識調査の実施	→	回	0	1	0	0	1
③									
指標の説明	①健康プランの改定回数（5年ごと） ②健康に関する意識調査の実施								
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							

2. 事業費の推移									
単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	元年度	2年度	3年度			4年度			
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減（R3決算比）		
事業費	A	0	2,604	306	0	0.0%	3,621	3,621	
人件費	【正規（人数）】	(0.10)	(0.50)	—	(0.20)		(0.50)	—	
	【会計年度任用職員等（人数）】			—				—	
	人件費 B	B	850	4,250	—	1,700		4,250	2,550
事業費（人件費含む）	C=A+B	850	6,854	—	1,700		7,871	6,171	
財源内訳	国、都支出金		1,211				1,573	1,573	
	使用料・手数料	D						0	
	地方債・その他							0	
	一般財源	E=C-D	850	5,643	—	1,700		6,298	4,598

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

健康プランは基本計画における健康分野の補完計画であり、区民が「健康的な生活スタイルを獲得し、安心して充実した毎日を過ごす。」ことを基本理念としたものである。計画期間の中間年度及び最終年度の前年度に区民意識調査を実施し、計画の進捗管理及び計画改定の基礎資料としていることから、必要な予算を確保していく。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0801 - 24

事務事業名	豊島健康診査センター運営助成事業	担当組織	池袋保健所	地域保健課
-------	------------------	------	-------	-------

事業特性										
	事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	一般事業	計画事業No.			
	単独／補助	区単独事業	運営形態	全部業務委託						
事業を構成する予算事業	① 運営助成経費				②					

政策体系（令和3年度基本計画）									
地域づくりの方向	【体系外】公共施設等のマネジメントの構築				政策				
施策					施策番号	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標			
施策の目標									

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	豊島健康診査センターを利用する区民							
	事業の目的・期待する効果	豊島健康診査センターの経営状態を安定させ、区民の健康づくり拠点として多くの区民に愛され、活用されることを目指す							
	事業概要	医療法人財団豊島健康診査センター補助金交付要綱に基づき、機器のリース料等の一部を助成する							
基礎データ（事業のための資産・利用者等の情報）	区民の健康づくり拠点として、がん検診をはじめ各種健診を集中的に受注し、安定した精度の健（検）診および検体検査業務を実施。区保健事業（胃がん検診（バリウム、内視鏡）、肺がん検診、骨粗しょう症検診、乳がん検診（マンモグラフィ）、子宮頸がん検診（HPV検査）、大腸がん検診や各種健診における血液検査、尿検査等の検体検査、その他健（検）診結果入力業務等）、保険診療事業（医療機関からの紹介による検査）、自費診療事業（事業所健診、学校健診等）の各種検査に使用する機器のリース料の一部助成								
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 画像診断受託件数	↗	件	59,766	46,428	50,000	53,402	54,000
		② 自費診療受託件数	↗	件	15,889	11,074	15,000	11,392	15,000
		③ 臨床検査受託件数	↗	件	289,744	256,814	258,000	256,028	260,000
	指標の説明	①画像等診断延べ数（各年度の画像診断実績＋超音波） ②事業所健診、学校健診、人間ドック等独自健診実施件数 ③医療機関からの依頼や区保健事業における検体検査実施数							
	未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症の影響による自費診療受託件数の回復遅れ、同業他社の営業活動強化による医療機関からの検体検査受託件数が減少しているため					
事業の取組実績	3年度の取組内容	機器リースは、年間500万円以上の機器リース料の50%、機器保守は、年間500万円以上の機器の保守料の25%を補助している。機器の種類：CT撮影装置（3年度更新）、MRI（3年度更新）、乳房X線撮影装置、電子内視鏡システム、検体検査装置、総合画像管理システム、超音波診断装置、X線装置（胸部、透視）、採血業務支援システム、健診予約管理システム、特定健診対応システム、業務系クライアント、事務系・業務系サーバー							
	活動指標（事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 運営経費の助成	↘	千円	27,748	27,394	35,350	35,156	33,532
		② 資金の貸付	↘	千円	35,000	120,000	20,000	35,000	20,000
	指標の説明	①各種機器のリース及び保守経費の一部助成金額 ②区保健事業歳入までの間の人件費等運営資金の貸付額（2年度は補正10,000千円、3年度は単年度新拡1,500千円増額）							
	未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	①CT、MRIという高額医療機器の更新があったため。 ②新型コロナウイルス感染症による収入減に対し、補正や新拡予算による貸付資金増額を行ったため。					

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）		元年度	2年度	3年度		4年度		
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)
事業費	A	62,748	147,394	70,350	70,156	99.7%	53,532	-16,624
人件費	【正規（人数）】	(0.30)	(0.20)	—	(0.20)		(0.20)	—
	【会計年度任用職員等（人数）】			—				—
	人件費 B	B	2,550	1,700	—	1,700	1,700	0
	事業費（人件費含む）	C=A+B	65,298	149,094	—	71,856	55,232	-16,624
財源内訳	国、都支出金							0
	使用料・手数料	D						0
	地方債・その他		35,000	120,000	35,000	35,000	20,000	-15,000
	一般財源	E=C-D	30,298	29,094	—	36,856	35,232	-1,624

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

区の保健事業頼りではなく、自費診療事業や保険診療事業等のさらなる拡充で収入増を図り、区からの資金貸付を受けず自律的な経営を目指すことを目標としたい。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0802 - 01

事務事業名	医務・薬事関係事業	担当組織	池袋保健所	生活衛生課
-------	-----------	------	-------	-------

事業特性											
	事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	計画事業	計画事業No.	3	3	3	4
	単独／補助	区単独事業	運営形態	直営							
事業を構成する予算事業	① 医務・薬事関係経費				②						

政策体系（令和3年度基本計画）										
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち				政策	健康な生活の維持・増進				
施策	健康危機管理の強化				施策番号	3-3-3 関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標				
施策の目標										

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区内医療関係施設（医療機関、薬局など）								
	事業の目的・期待する効果	医療法・薬機法等に基づき、医療機関及び薬局等において、医薬品・医療機器、毒物劇物等が適正に保管・管理、使用されるようにする。								
	事業概要	開設時・更新時及び一斉監視事業等による立入検査・監視指導を実施する。								
基礎データ（事業のための資産・利用者等の情報）	区内医療関係施設数：3,577施設（医療機関等1,482施設（病院、診療所、歯科診療所、助産所、施術所、歯科技工所、衛生検査所）、薬局等2,095施設（薬局、薬局製剤製造・販売業、医薬品店舗販売業、麻薬小売業、高度管理医療機器販売業・貸与業、管理医療機器販売業・貸与業、毒物劇物販売業・業務上取扱者）＜令和3年3月31日時点＞									
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
		① 監視指導率	→	%	15.3	15.0	16.9	16.9	16.8	
		②								
		③								
	指標の説明	対象施設数に対する立入検査（監視指導）の数の比率								
	未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							
事業の取組実績	3年度の取組内容	新規開設時、許可更新時、一斉監視指導事業等により、立入検査（監視指導）を実施した。立入件数は、600件（医療機関：164件、薬局等436件）であった。								
	活動指標（事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
		① 監視指導件数	→	%	565	533	600	600	600	
		②								
		③								
	指標の説明	医療関係施設及び薬局等施設に対する立入検査数								
	未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	元年度	2年度	3年度			4年度			
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減（R3決算比）		
事業費	A	3,701	2,764	3,231	2,661	82.4%	3,231	570	
人件費	【正規（人数）】	(3.60)	(3.60)	—	(3.60)		(3.88)	—	
	【会計年度任用職員等（人数）】	(2.00)	(2.00)	—	(2.00)		(2.00)	—	
	人件費B	B	37,800	37,800	—	37,800		40,138	2,338
事業費（人件費含む）	C=A+B	41,501	40,564	—	40,461		43,369	2,908	
財源内訳	国、都支出金		0	0	0	0	0	0	
	使用料・手数料	D	3,304	3,943	3,515	3,437		3,515	78
	地方債・その他		0	0	0	0		0	0
	一般財源	E=C-D	38,197	36,621	—	37,024		39,854	2,830

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識	
法令等の規定に基づき、医療機関や薬局等の監視指導を継続していく。	

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0802 - 02

事務事業名	環境衛生関係事業	担当組織	池袋保健所	生活衛生課
-------	----------	------	-------	-------

事業特性				
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般
単独／補助	区単独事業	運営形態	直営	計画事業
事業を構成する予算事業	① 環境衛生関係経費	②		計画事業No. 3 - 3 - 3 - 5

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち	政策	健康な生活の維持・増進	
施策	健康危機管理の強化	施策番号	3-3-3	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標
施策の目標	新型インフルエンザ等の感染拡大防止や災害医療体制・保健衛生体制の構築など、健康危機への対応を強化します。			

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	環境衛生関係営業施設の経営者及び従業者							
	事業の目的・期待する効果	環境衛生関係営業施設において、安全で清浄な環境が提供される。							
	事業概要	環境衛生関係営業施設の開設時、設備変更時及び一斉監視事業等により立入検査を実施する。							
基礎データ（事業のための資産利用者等の情報）	法令施設2,987件（理容所・美容所・クリーニング所・興行場・旅館業・公衆浴場・プール・水道施設・温泉利用施設・墓地等・特定建築物） 要綱施設4,555件（貯水槽水道・コインランドリー・コインシャワー）								
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 環境衛生関係営業施設（法令）監視率	→	%	48	36	50	35	50
		②							
		③							
	指標の説明	対象施設に対する立入検査（監視指導）の件数の比率							
	未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による立入検査数の減					
事業の取組実績	3年度の取組内容	新規開設、設備変更時及び一斉監視事業等により、立入検査（監視指導）を実施した。立入件数は、法令施設1,066件、要綱施設339件だった。							
	活動指標（事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 環境衛生関係営業施設（法令）監視指導件数	→	件	1,411	1,088	1,350	1,066	1,350
		② 環境衛生関係営業施設（要綱）監視指導件数	→	件	271	340	350	339	350
		③							
	指標の説明	①法令に基づき許可、確認及び届出をしている環境衛生関係営業施設に対する立入検査数 ②要綱に基づき届出をしている施設に対する立入検査数							
	未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による立入検査数の減					

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	元年度	2年度	3年度			4年度		
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減（R3決算比）	
事業費	A	4,200	3,179	5,615	3,055	54.4%	5,418	2,363
人件費	【正規（人数）】	(12.00)	(10.60)	—	(10.60)		(9.60)	—
	【会計年度任用職員等（人数）】	(0.00)	(2.70)	—	(2.70)		(2.00)	—
	人件費 B	B	102,000	99,820	—	99,820		88,800
事業費（人件費含む）	C=A+B	106,200	102,999	—	102,875		94,218	-8,657
財源内訳	国、都支出金							0
	使用料・手数料	D	5,281	3,830				0
	地方債・その他							0
一般財源	E=C-D	100,919	99,169	—	102,875		94,218	-8,657

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

区民が安全に施設を利用いただくためにも継続的な監視指導が重要である。一方で、衛生状況が大きく改善している項目等については、状況に応じて検査方法の見直しを検討していく必要がある。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0802 - 04

事務事業名	住宅宿泊事業	担当組織	池袋保健所	生活衛生課
-------	--------	------	-------	-------

事業特性											
	事業開始年度	30年度	事業終了年度		計画／一般	計画事業	計画事業No.	3	3	3	7
	単独／補助	区単独事業	運営形態	直営							
事業を構成する予算事業	① 住宅宿泊事業関係経費				②						

政策体系（令和3年度基本計画）										
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち				政策	健康な生活の維持・増進				
施策	健康危機管理の強化				施策番号	3-3-3 関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標				
施策の目標	新型インフルエンザ等の感染拡大防止や災害医療体制・保健衛生体制の構築など、健康危機への対応を強化します。									

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区内の住宅宿泊事業法に基づく届出住宅								
	事業の目的・期待する効果	住宅宿泊事業の届出及び運営が、法令に基づき適正になされていること。								
	事業概要	法令に基づく住宅宿泊事業の届出の受理及び標識の交付								
基礎データ （事業のための資産利用者等の情報）	住宅宿泊事業延べ宿泊者数 令和元年度292,976人 令和2年度49,284人 令和3年度55,934人									
事業目標の達成状況	成果指標 （事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度 目標（計画）	3年度 （実績）	4年度 （計画値）	
		① 住宅宿泊事業届出住宅数	↗	件	973	810	750	717	600	
		②								
		③								
	指標の説明	住宅宿泊事業届出住宅数は、年度末において住宅宿泊事業法に基づき住宅宿泊事業を実施している住宅数（届出数－廃止数）								
	未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染拡大の影響による住宅宿泊事業の需要減						
事業の取組実績	3年度の取組内容	住宅宿泊事業の適正な受理作業の遂行 届出住宅における標識設置確認 住宅宿泊事業を実施しようとする者に対する手引きの配布 住宅宿泊事業者へ適せな運営のためのパンフレットの配布								
	活動指標 （事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度 目標（計画）	3年度 （実績）	4年度 （計画値）	
		① 住宅宿泊事業届出住宅の新規受理件数	→	件	434	100	150	65	70	
		② 届出住宅における標識設置確認	→	件	479	161	150	240	150	
		③								
	指標の説明	①住宅宿泊事業法及び関係法令に基づき、適正な届出を受理した件数 ②宿泊者及び周辺住民に対し、適正な届出を行った住宅であることを証する重要な要素である標識の設置確認								
	未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による新規受理件数の減						

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	元年度	2年度	3年度			4年度		
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)	
事業費	A	259	454	599	270	45.1%	599	329
人件費	【正規(人数)】	(0.80)	(1.00)	—	(1.00)		(1.00)	—
	【会計年度任用職員等(人数)】	(1.20)	(1.00)	—	(1.00)		(1.00)	—
	人件費B	B	11,120	12,100	—	12,100		12,100
事業費(人件費含む)	C=A+B	11,379	12,554	—	12,370		12,699	329
財源内訳	国、都支出金							0
	使用料・手数料	D						0
	地方債・その他							0
	一般財源	E=C-D	11,379	12,554	—	12,370		12,699

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
新型コロナウイルス感染症の拡大により、届出件数や苦情相談の内容が大きく変化しました。この動向を踏まえ、令和4年度に「住宅宿泊事業あり方検討会」を立ち上げ、今後の在り方を検討していく。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0802 - 05

事務事業名	食の安全推進事業	担当組織	池袋保健所	生活衛生課
-------	----------	------	-------	-------

事業特性				
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般
単独／補助	国・都補助＋区上乗せ事業	運営形態	直営	計画事業
事業を構成する予算事業	① 食の安全推進事業経費		②	計画事業No. 3 - 3 - 3 - 6

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち		政策	健康な生活の維持・増進
施策	健康危機管理の強化		施策番号	3-3-3 <small>関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標</small>
施策の目標	食品衛生の向上による安全な生活環境を推進します。			

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象 (具体的に記載)	区内で実施する消費者向け講習会、街頭相談、啓発イベント等参加者							
	事業の目的・期待する効果	食品衛生意識の向上により、消費者の安全な食生活を守る。							
	事業概要	消費者向け講習会、街頭相談、啓発イベント等を通じて、最新の食品衛生に関する情報を提供し、区民(消費者)の食品衛生意識の向上を図る。							
基礎データ <small>(事業のための資産利用者等の情報)</small>	令和元年 消費者向け講習会 開催7回 参加者652人、街頭相談参加者281人、令和2年 消費者向け講習会 実施なし 街頭相談 実施なし、令和3年 消費者向け講習会 開催1回 参加者30人 街頭相談 実施なし								
事業目標の達成状況	成果指標 <small>(事業目標の達成度)</small>	指標	目指す方向性	単位	元年度 啓発	2年度 (実績)	3年度 目標(計画)	3年度 (実績)	4年度 (計画値)
	①	消費者向け講習会、街頭相談、啓発イベント参加者数	→	回	652	0	1,500	30	1,500
	②								
	③								
指標の説明	消費者向け講習会、街頭相談、啓発イベント(食育フェアにおける食品衛生コーナー)の参加者数。								
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナの拡大に伴い、街頭相談、啓発イベントは中止となった。消費者向け講習会も1回しか開催できなかった。						
事業の取組実績	3年度の取組内容 <small>(3年度に実施した具体的な業務内容)</small>	消費者を対象とした食品衛生講習会を1回開催。新型コロナの拡大によりふくろ祭りが中止になったため、街頭相談は中止。同様にとしま食育フェアも中止となった。7月と12月に、西武デパート池袋店店頭で食中毒予防意識啓発のための懸垂幕を設置。中央図書館展示コーナーで7月と1月、食中毒予防意識啓発のためのパネル展示と関係書籍の紹介を実施した。							
	活動指標 <small>(事業の実施状況)</small>	指標	目指す方向性	単位	元年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 目標(計画)	3年度 (実績)	4年度 (計画値)
	①	消費者向け講習会、街頭相談、啓発イベント開催数	→	回	7	0	20	1	20
	②								
③									
指標の説明	消費者向け講習会、街頭相談、啓発イベント(食育フェアにおける食品衛生コーナー)開催回数								
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナの拡大に伴い、街頭相談、啓発イベントは中止となった。消費者向け講習会も1回しか開催できなかった。						

2. 事業費の推移								
単位 <small>(金額の項目:千円 人数の項目:人)</small>		元年度	2年度	3年度			4年度	
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)
事業費	A	404	126	445	138	31.0%	444	306
人件費	【正規(人数)】	(2.20)	(2.20)	—	(2.20)		(2.20)	—
	【会計年度任用職員等(人数)】	(0.00)	(0.00)	—	(0.00)		(0.00)	—
	人件費 B	B	18,700	18,700	—	18,700		18,700
事業費(人件費含む)	C=A+B	19,104	18,826	—	18,838		19,144	306
財源内訳	国、都支出金		202	63	219	63	219	156
	使用料・手数料	D						0
	地方債・その他							0
	一般財源	E=C-D	18,902	18,763	—	18,775		18,925

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
区民の食品衛生意識の向上も重要である中、コロナ禍における啓発の方法について工夫していく。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0802 - 07

事務事業名	人と動物の共生事業	担当組織	池袋保健所	生活衛生課
-------	-----------	------	-------	-------

事業特性										
	事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	一般事業	計画事業No.			
	単独／補助	国・都補助＋区上乗せ事業	運営形態	直営						
事業を構成する予算事業	① 人と動物の共生事業経費				②					

政策体系（令和3年度基本計画）									
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち				政策	健康な生活の維持・増進			
施策	健康危機管理の強化				施策番号	3-3-3 関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標			
施策の目標									

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象 (具体的に記載)	区内の地域協議会45団体及び地域猫活動講習会受講者 8名(令和3年度末) (「飼い主のいない猫対策」医療保健対策区市町村包括補助金による助成対象団体)							
	事業の目的・期待する効果	飼い主のいない猫の増加による生活環境の悪化を改善するため、地域にいる猫を捕獲し地域猫活動に対し不妊去勢手術費用の一部を助成するとともに、地域猫活動の普及・支援を行う。							
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域協議会の登録と、不妊去勢手術した経費の申請受付、助成金を交付する。 ・一般区民(個人)単位では「地域猫活動講習会」を受講していただき、地域猫活動に対し助成する。 ・その他、普及啓発やイベント実施 							
基礎データ (事業のための資産利用者等の情報)	地域協議会数 45団体(R4年3月末現在) 不妊・去勢手術助成件数 211件(令和3年度計)								
事業目標の達成状況	成果指標 (事業目標の達成度)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)
		① 地域協議会数	↗	団体	40	42	45	45	48
		② 不妊去勢手術助成件数	→	匹	173	229	230	211	230
		③ 地域猫講習会受講済登録者数	↗	人	77	108	138	116	146
	指標の説明	①町会長の承認を得て活動する団体の数②地域協議会及び地域猫講習会受講者による地域猫活動(不妊去勢手術)費用の一部助成③地域猫講習会を受講し地域猫活動をする一般の方として登録された方的人数(各年度末現在)							
	未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由						
事業の取組実績	3年度の取組内容 (3年度に実施した具体的な業務内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域猫活動講習会開催 ・地域猫活動不妊去勢手術費助成 ・地域猫活動用捕獲機及びカメラ貸出 ・ペットの写真コンテスト開催 ・中央図書館地域猫普及啓発特別展示 ・猫の糞尿被害防止用ガーデンバリア貸出及び木酢液の配布 							
	活動指標 (事業の実施状況)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)
		① 地域協議会新規承認数	↗	団体	2	2	3	3	4
		② 地域猫活動講習会開催回数	→	回	10	11	10	2	10
	③ 地域猫活動講習会受講者数	→	人	34	31	30	8	30	
	指標の説明	①新規で登録する地域協議会の団体数②年12回開催予定のうち、申込者があった時に開催③その年度に講習会を受講した合計人数							
	未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由 地域猫講習会受講希望者が少なかつたため。						

2. 事業費の推移

単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)		元年度	2年度	3年度			4年度		
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減(R3決算比)	
事業費	A	4,782	4,174	3,250	2,683	82.6%	11,081	8,398	
人件費	【正規(人数)】	(0.50)	(0.50)	—	(0.50)		(0.50)	—	
	【会計年度任用職員等(人数)】	(0.60)	(0.60)	—	(0.60)		(0.60)	—	
	人件費B	B	6,410	6,410	—	6,410		6,410	0
	事業費(人件費含む) C=A+B	11,192	10,584	—	9,093		17,491	8,398	
財源内訳	国、都支出金		4,781	4,174	3,250	1,589		8,915	7,326
	使用料・手数料	D							0
	地方債・その他								0
	一般財源 E=C-D		6,411	6,410	—	7,504		8,576	1,072

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
令和4年度から実施する新規事業と合わせて、人と動物の共生をさらに進めていく。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0802 - 08

事務事業名	衛生害虫駆除対策事業	担当組織	池袋保健所	生活衛生課
-------	------------	------	-------	-------

事業特性										
	事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	一般事業	計画事業No.			
	単独／補助	国・都補助事業	運営形態	一部業務委託						
事業を構成する予算事業	① 衛生害虫駆除対策経費				②					

政策体系（令和3年度基本計画）										
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち				政策	健康な生活の維持・増進				
施策	健康危機管理の強化				施策番号	3-3-3 関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標				
施策の目標	新型インフルエンザ等の感染拡大防止や災害医療体制・保健衛生体制の構築など、健康危機への対応を強化します。									

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	蚊やハエ、ユスリカの区内発生場所、スズメバチ類、ねずみ、衛生害虫等の区内相談者								
	事業の目的・期待する効果	蚊とハエ駆除対策やねずみ駆除対策、衛生害虫等の相談指導								
	事業概要	雨水マス等を対象とした薬剤投入、窓口・電話相談、講習会や相談所開設によるねずみ・衛生害虫の防除指導。								
基礎データ（事業のための資産利用者等の情報）	雨水マスへの薬剤散布か所数（令和3年度：115,806か所）、スズメバチ類駆除委託数（令和3年度：155件）、講習会（令和3年度：2回）、衛生害虫相談（令和3年度：1,006件）									
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
		① 蚊捕獲数	↘	匹	623	2,111	600	809	600	
		②								
	指標の説明	蚊とハエ駆除対策の効果や生息状況等を把握するため、定点・定期による蚊発生状況等調査を実施（年間調査数16回）								
	未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由		年度によりバラつきが大きい。					
事業の取組実績	3年度の取組内容	・雨水マスへの薬剤散布 ・スズメバチ類駆除委託 ・衛生害虫等に関する相談指導 ・講習会・研修会の実施								
	活動指標（事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
		① 雨水マスへの薬剤散布か所数	→	か所	115,800	115,891	115,800	115,806	115,800	
		② スズメバチ類駆除	→	件	148	116	120	155	150	
		③ 衛生害虫等相談指導	→	件	824	845	850	1006	1000	
	指標の説明	①蚊やハエ等駆除のための雨水マス等へ薬剤散布 ②スズメバチ類駆除のための委託件数 ③衛生害虫等に関する相談や指導								
	未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	元年度	2年度	3年度			4年度			
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減（R3決算比）		
事業費	A	9,717	9,299	10,136	10,135	100.0%	10,037	-98	
人件費	【正規（人数）】	(0.40)	(0.40)	—	(0.40)		(0.40)	—	
	【会計年度任用職員等（人数）】	(1.00)	(1.00)	—	(1.00)		(1.00)	—	
	人件費B	B	7,000	7,000	—	7,000		7,000	0
事業費（人件費含む）	C=A+B	16,717	16,299	—	17,135		17,037	-98	
財源内訳	国、都支出金		9,917	8,000	4,315	4,358		11,834	7,476
	使用料・手数料	D							0
	地方債・その他								0
一般財源	E=C-D	6,800	8,299	—	12,777		5,203	-7,574	

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
デング熱等の感染症拡大、スズメバチによる公共の刺傷といったリスクを低減させるため、駆除対策を継続していく。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0803 - 01

事務事業名	女性のしなやか健康づくり事業	担当組織	池袋保健所	健康推進課
-------	----------------	------	-------	-------

事業特性				
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般
単独／補助	国・都補助＋区上乗せ事業	運営形態	直営	計画事業
事業を構成する予算事業	① 女性のしなやかな健康づくり経費		②	計画事業No. 3 - 3 - 2 - 2

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち	政策	健康な生活の維持・増進	
施策	こころと体の健康づくりの推進【重点】	施策番号	3-3-2	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標 子どもと女性にやさしいまち
施策の目標	ライフステージに合わせ、女性の健康づくりを総合的に支援するとともに、結婚前から子育てに係る年代に対する切れ目のない支援を充実させます。			

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	概ね50歳以下の成人女性区民							
	事業の目的・期待する効果	講習会の参加を通じて女性の健康課題を理解し、また健康に対する理解を深めて、自ら健康づくりを実践できる人を増やす。							
	事業概要	若い世代の女性区民を主な対象として、骨太健診・女性のための健康教室・乳幼児健診を活用した骨密度測定及び栄養指導などを実施。本人だけでなく家族の健康への意識づけや、自ら健康づくりを実践できるよう支援する。							
基礎データ （事業のための資産・利用者等の情報）	住民基本台帳登録者数 R元年～R4年各4月								
	・18～29歳女性人口：R元年：R元年：27,818人、R2年：27,457人、R3年：26,220人、R4年：25,085人 ・30～39歳女性人口：R元年：23,414人、R2年：23,616人、R3年：23,182人、R4年：22,855人 ・40～55歳女性人口：30年：R元年：33,070人、R2年：33,429人、R3年：33,233人、R4年：33,176人								
事業目標の達成状況	成果指標 （事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	①	自分の体格を正しく理解している人の割合	↗	%	35.0	38.5	37.0	43.1	40.0
	②	健康について意識ができたと回答した割合	→	%	89.7	92.6	75.0	100.0	90.0
指標の説明	①問診票の自己評価において、実際のBMIを正しく認識できた人の割合 ②教室のアンケートで健康について意識ができたと回答した割合								
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							
事業の取組実績	3年度の取組内容	・20～39歳の健診機会のない女性区民を対象とした骨太健診：10回 ・親子で参加できる教室等や、保育付きの女性しなやか健康教室：3回 ・乳幼児健診来所保護者の骨密度測定（超音波）及び栄養指導：48回							
	活動指標 （事業の実施状況）	10	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	①	骨太健診受診者数	↗	人	419	276	600	311	400
②	女性のしなやか健康教室参加者数	→	人	54	27	60	27	30	
③	乳幼児健診来所保護者の骨密度測定者数	→	人	1,632	1,514	1,800	1,703	1,700	
指標の説明	①女性の骨太健診の受診者数 ②女性の生涯にわたる健康づくりと、家族の健康づくりを推進するため、運動・食事・医師等の健康教室（3回シリーズ） ③乳幼児健診（乳児健診・3歳児健診）の母親を対象とした骨密度測定の実施人数。								
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由 ①は新型コロナウイルス感染拡大による保健所業務ひっ迫のための健診中止月があったため。②は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員を減らしたため。							

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）		元年度	2年度	3年度			4年度		
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 （R3決算比）	
事業費	A	4,072	3,619	4,225	2,579	61.0%	4,056	1,477	
人件費	【正規（人数）】	(0.90)	(0.90)	—	(1.00)		(1.00)	—	
	【会計年度任用職員等（人数）】	(0.00)	(0.30)	—	(0.30)		(0.30)	—	
	人件費 B	B	7,650	8,730	—	9,580		9,580	0
事業費（人件費含む）	C=A+B	11,722	12,349	—	12,159		13,636	1,477	
財源内訳	国、都支出金		2,300	2,515	2,097	2,395		2,697	302
	使用料・手数料	D							0
	地方債・その他								0
一般財源	E=C-D	9,422	9,834	—	9,764		10,939	1,175	

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

健診や教室の参加により、女性の健康課題（体格の自覚や、骨量減少など）を対象者が知り意識づけすることができる。若いころからの健康づくりを意識・実践できる人を増やすためには、本事業の継続が必要である。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0803 - 04

事務事業名	母親学級事業	担当組織	池袋保健所	健康推進課
-------	--------	------	-------	-------

事業特性										
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画ノ一般	計画事業	計画事業No.	3	3	2	14
単独ノ補助	区単独事業	運営形態	一部業務委託							
事業を構成する予算事業	① 母親学級開催経費			②						

政策体系（令和3年度基本計画）									
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち			政策	健康な生活の維持・増進				
施策	こころと体の健康づくりの推進【重点】			施策番号	3-3-2 <small>関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標</small>				
施策の目標	ライフステージに合わせ、女性の健康づくりを総合的に支援するとともに、結婚前から子育てに係る年代に対する切れ目のない支援を充実させます。								

1. 事業の概要										
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	初めて妊娠した区民およびそのパートナー								
	事業の目的・期待する効果	初めての出産に向けて、母性の保護や出産、育児に関して正しい知識を身に着けるとともに、子の養育を父母の共同の責任としてとらえ、新しい家族を迎える準備ができるようにする。								
	事業概要	母親学級は、初めての出産を迎える妊婦を対象に毎月土曜日に実施し、妊娠中の生理や栄養、お産の準備や産後の生活、沐浴実習、歯科衛生についての講義や演習を行う。パパママ準備教室（両親学級）は、初めてパパママになる区民を対象に毎月日曜日に実施し、妊婦体験、沐浴実習など父親になる自覚と準備について講義や演習を行う。								
基礎データ 事業のための資産・利用者等の情報	妊娠届出数（区全体）：◆令和元年度妊娠届2,743人（転入妊婦220人含む） ◆令和2年度妊娠届2,620人（転入妊婦174人含む）（うち初産婦1,483人） ◆令和3年度妊娠届2,487人（転入妊婦181人含む）（うち初産婦1,388人）									
事業目標の達成状況	成果指標 事業目標の達成度	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
		① 区民意識調査「安心して子どもを産み育てることができる」回答割合	↗	%	19.0	20.6	21.0	24.9	25.0	
		② 区民意識調査「安心して子どもを産み育てられる環境整備」回答割合	↗	%	48.0	-	50.0	-	50.0	
指標の説明	「協働のまちづくりに関する区民意識調査」において ①子育て「妊娠・出産期からきめ細やかな支援がなされ、安心して子どもを産み育てることができる」の項目で、「どちらかというとそう思う」と回答した割合 ②「女性に優しいと感じる街に大切だと思う」と回答した割合（3年ごとの調査項目）。									
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由								
事業の取組実績	3年度の取組内容	・母親学級は、妊娠24週から36週の初産婦を対象に、お産の準備と沐浴実習、赤ちゃんのいるくらし等の内容で、土曜日半日制を委託により12回実施。 ・パパママ準備教室は、妊娠24週から36週の初産婦とそのパートナーを対象に、沐浴実習、妊婦体験、子どもの事故予防等の内容で、4月から8月までは日曜日に月2回、計10回、9月から3月までは土日に月3回、計21回を委託により実施。								
		3年度に実施した具体的な業務内容								
	活動指標 事業の実施状況	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
		① 母親学級・パパママ準備教室実施回数	→	回	44	36	48	43	48	
② 母親学級参加者		→	人	367	186	200	219	220		
③ パパママ準備教室参加者	→	人	1,116	955	1,600	1,216	1,500			
指標の説明	①母親学級とパパママ準備教室を開催した回数（母親学級12回、パパママ準備教室31回） ②母親学級に参加した妊婦の人数 ③パパママ準備教室に参加した妊婦とそのパートナーの人数									
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由 母親学級については、実施回数、参加者数ともに目標値を達成。パパママ準備において、実施回数、参加者数ともに目標値を達成できなかった。								

2. 事業費の推移									
単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	元年度	2年度	3年度			4年度			
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減（R3決算比）		
事業費	A	3,192	5,012	6,895	5,892	85.5%	6,842	950	
人件費		(0.50)	(0.30)	—	(0.30)		(0.30)	—	
【正規（人数）】		(0.00)	(0.00)	—	(0.00)		(0.00)	—	
【会計年度任用職員等（人数）】									
人件費 B	B	4,250	2,550	—	2,550		2,550	0	
事業費（人件費含む）	C=A+B	7,442	7,562	—	8,442		9,392	950	
財源内訳	国、都支出金							0	
	使用料・手数料	D						0	
	地方債・その他							0	
	一般財源	E=C-D	7,442	7,562	—	8,442		9,392	950

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
切れ目のない子育て支援の起点として重要な事業である。母親学級、パパママ準備教室ともに予約を断る回が発生している状況であるため、感染対策を講じた上での定員増について検討を要する。区民ニーズの高い事業であるため、継続して実施する。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0803 - 06

事務事業名	産後ケア事業	担当組織	池袋保健所	健康推進課
-------	--------	------	-------	-------

事業特性					
事業開始年度	30年度	事業終了年度		計画／一般	計画事業
単独／補助	国・都補助事業	運営形態		計画事業No.	3 - 3 - 2 - 12
事業を構成する予算事業	① 豊島区産後ケア事業経費		②		

政策体系（令和3年度基本計画）					
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち		政策	健康な生活の維持・増進	
施策	こころと体の健康づくりの推進【重点】		施策番号	3-3-2 関連する「まち・ひととし」創生総合戦略の基本目標 子どもと女性にやさしいまち	
施策の目標	ライフステージに合わせ、女性の健康づくりを総合的に支援するとともに、結婚前から子育てに係る年代に対する切れ目のない支援を充実させます。				

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	産後4か月未満の産婦と乳児							
	事業の目的・期待する効果	産後において家族等の援助が受けられず支援を必要とする産婦の育児に関する負担感を軽減し、安心して育児に取り組める環境を整える。							
	事業概要	産婦及び乳児に対して、助産師等専門職が心身のケア、育児の支援、その他母子の健康の維持及び増進に必要な支援を行う。							
基礎データ （事業のための資産・利用者等の情報）	◆ 出生概数1,868人（豊島区全数。令和3年度） ◆ R3年度 ゆりかご面接（妊婦面接）で「ゆりかご支援計画」を策定した人数 47人（3.0%） ◆ R3年度 赤ちゃん訪問でEPDS高値（産後うつの可能性あり）の人数 140人（8.2%）								
	事業目標の達成状況	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	① 事業利用により子育てに自信が持った利用者	↗	%	66.7	58.1	70.0	77.0	78.0	
	②								
	③								
指標の説明	①事業利用者の利用後のアンケート結果による（「子育てに自信が持った」の欄で「そう思う」と回答した人の数/アンケート回収数）								
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							
事業の取組実績	3年度の取組内容	助産院等助産師が24時間常駐する施設において、宿泊による心身のケア、育児の支援等を行う。 ①産後における母体管理及び生活面の指導 ②母乳に関する相談及び授乳方法の指導 ③沐浴方法の指導 ④発育又は発達に関する相談 ⑤保健指導 ⑥母親への食事の提供、新生児・乳児へのミルクの提供							
	活動指標 （事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	① 産後ケア利用者数	↗	人	70	109	110	123	130	
② 産後ケア利用延べ日数	↗	日	300	423	430	506	520		
指標の説明	①産後ケアを利用した人の実数 ②利用者ひとりにつき最大4日、多胎の場合は7日の利用日数								
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	元年度	2年度	3年度		4年度			
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 （R3決算比）	
事業費	A	8,827	12,473	14,477	14,462	99.9%	17,077	2,615
人件費	【正規（人数）】	(0.30)	(0.30)	—	(0.30)		(0.30)	—
	【会計年度任用職員等（人数）】	(0.00)	(0.00)	—	(0.00)		(0.00)	—
人件費B	B	2,550	2,550	—	2,550		2,550	0
事業費（人件費含む）	C=A+B	11,377	15,023	—	17,012		19,627	2,615
財源内訳	国、都支出金	11,650	17,061	17,076	17,061		17,076	15
	使用料・手数料	D						0
	地方債・その他							0
一般財源	E=C-D	-273	-2,038	—	-49		2,551	2,600

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

成果指標、活動指標ともに目標を達成することができた。区民のニーズが高く、妊娠期からの切れ目のない支援を担う重要な事業であるため、継続して実施する。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0803 - 07

事務事業名	幼児歯科健康診査事業	担当組織	池袋保健所	健康推進課
-------	------------	------	-------	-------

事業特性				
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般
単独／補助	区単独事業	運営形態	一部業務委託	計画事業
事業を構成する予算事業	① 歯科衛生事業経費	②		計画事業No. 3 - 3 - 2 - 7

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち	政策	健康な生活の維持・増進	
施策	こころと体の健康づくりの推進【重点】	施策番号	3-3-2	関連する「まち・ひととし」創生総合戦略の基本目標 子どもと女性にやさしいまち
施策の目標	ライフステージに合わせ、女性の健康づくりを総合的に支援するとともに、結婚前から子育てに係る年代に対する切れ目のない支援を充実させます。			

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	乳幼児とその保護者、保育園児								
	事業の目的・期待する効果	3歳児のむし歯のない子の割合増加								
事業概要	むし歯予防・食育対策、保護者への正しい知識の普及啓発を健診事業、健康教育事業の中で実施する									
	<ul style="list-style-type: none"> 1歳児歯科健診：豊島区全域の1歳児を対象に池袋保健所で歯科健診、歯みがき指導、保健師、栄養士の講座を行う こども歯科健診：2歳児、2歳半児、3歳半～4歳未満児を対象に池袋管轄、長崎管轄ごとに行う 歯科健康教育：保育園、区民ひろばで歯科保健指導をおこなう 									
基礎データ（事業のための資産・利用者等の情報）	<ul style="list-style-type: none"> 1歳児歯科健診対象者数1,850人 2歳児歯科健診対象者数1,810人 うち池袋管内対象者数1,233人 									
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
		① 1歳6か月児健診時むし歯のない子	↗	%	99.6	99.2	99.4	99.4	99.5	
		② 3歳児健診時むし歯のない子	↗	%	91.6	92.8	93	93.8	94	
	③									
指標の説明	①1歳6か月児健診時、むし歯のない子の割合 ②3歳児健診時、むし歯のない子の割合									
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由								
事業の取組実績	3年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 1歳児歯科健診を24回実施 こども歯科健診を池袋保健所管内で22回実施 保育園（区立・私立）の歯科巡回指導を72園で実施 								
	活動指標（事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
		① 1歳児歯科健診	↗	人	1,182	1,014	1,100	1,153	1,200	
		② こども（2歳児）歯科健診	↗	人	929	625	700	713	800	
③ 歯科巡回指導（保育園）	↗	人	3,447	2,652	2,800	2,004	2,100			
指標の説明	①豊島区全域の1歳児の歯科健診受診者数 ②池袋保健所管内での2歳児歯科・こども歯科健診受診者数 ③豊島区全域の保育園（区立・私立）の希望園で行う歯みがき指導受講者数3歳児健診時むし歯のない子の割合									
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由 感染症拡大防止のため、一部事業を縮小したため受診者数が少なくなった								

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	元年度	2年度	3年度			4年度			
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減（R3決算比）		
事業費	A	10,068	8,918	4,468	4,467	100.0%	4,464	-3	
人件費	【正規（人数）】	(0.70)	(0.70)	—	(1.20)		(1.20)	—	
	【会計年度任用職員等（人数）】	(0.10)	(0.10)	—	(0.10)		(0.10)	—	
	人件費 B	B	6,310	6,310	—	10,560		10,560	0
事業費（人件費含む）	C=A+B	16,378	15,228	—	15,027		15,024	-3	
財源内訳	国、都支出金							0	
	使用料・手数料	D	253	80	288	118		288	170
	地方債・その他								0
一般財源	E=C-D	16,125	15,148	—	14,909		14,736	-173	

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

歯科巡回指導（保育園）受講者数が減っているのは感染症予防対策のためだが、内容を充実させ目標を達成することが出来ている。保健所ならではの多職種・関係機関との連携を図りながら、気になる親子の早期フォローや適切な育児支援を行うことができる事業であり、感染症予防対策を一層強化し、待ち時間の短縮や密にならない工夫をし、継続して行う必要がある。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0803 - 11

事務事業名	こころの健康事業	担当組織	池袋保健所	健康推進課
-------	----------	------	-------	-------

事業特性				
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画/一般
単独/補助	国・都補助+区上乗せ事業	運営形態	直営	計画事業
事業を構成する予算事業	① ①精神相談関係経費 ③ 精神障害者アウトリーチ事業経費	②	自殺うつ病の予防事業経費	計画事業No. 3 - 3 - 2 - 9

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち	政策	健康な生活の維持・増進	
施策	こころと体の健康づくりの推進【重点】	施策番号	3-3-2	関連する「まち・ひととしご創生総合戦略」の基本目標
施策の目標	メンタルヘルスについての正しい知識を広め、セルフケアができる人や周囲の方を気遣える人を増やします。			

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民								
	事業の目的・期待する効果	精神疾患の適切な医療を受け、住み慣れた地域で安定した生活を送れるようにする。また、セーフコミュニティ推進活動「自殺・うつ病の予防対策委員会」を設置し、豊島区の自殺者の減少を図る。								
	事業概要	精神疾患についての正しい知識の啓発を行うとともに、精神疾患が疑われる者並びに関係者に対し、専門相談（精神科医・精神保健福祉士）や保健師等による随時相談、訪問活動を行う。また、自立支援医療制度による通院医療費の公費負担經由事務・精神障害者保健福祉手帳交付を行う。豊島区自殺対策計画に基づき、自殺予防の対策を推進していく。								
基礎データ（事業のための資産・利用者等の情報）	人口（2022.1.1現在住民基本台帳登録者数）283,342人									
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
		① 自立支援医療新規申請件数	↗	件	433	418	400	427	420	
		② 区民意識調査の充実していると回答した割合	↗	%	18.1	15.7	17.0	18.7	19.4	
	③ 自殺率（人口動態統計）	↘	人口10万対	18.3	16.8	18	17.8	18		
指標の説明	①精神疾患で適正に医療につながり継続できるための通院医療費の負担軽減を図る制度の新規申請件数 ②「協働のまちづくりに関する区民意識調査」における健康・保健の「ライフステージに合わせた、こころからの健康づくりに関する支援が充実している」と回答した割合、③豊島区における（日本人を対象とした）自殺率 ※3年度の人口動態統計報告数値が未確定のため、警察庁自殺統計を基に住所地で算出された速報値（外国籍を含む）									
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	①の3年度実績について、目標値より下回っているが、元年度、2年度実績値は前年度より上回る数値であった。							
事業の取組実績	3年度の取組内容（3年度に実施した具体的な業務内容）	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科医による専門相談 11回実施、28名相談。精神保健福祉士による家族問題相談 10回実施、26名相談。 ・保健師による随時相談（訪問、面接、電話）、関係機関との連携支援。 ・精神保健福祉講座 7月18日「いつもと違う自分に困っていませんか？心の健康を保とう」12月20日「女性に多いこころの不調と対応」 ・「自殺・うつ病の予防対策委員会」7月19日、12月13日（事前指導）、1月12日「自殺対策計画推進会議」書面開催。 ・ゲートキーパー養成講座 7回実施、145名参加。 ・自殺予防の啓発活動を、鉄道会社、民間企業などと一緒に実施。 ・精神科未治療、治療中断者に対するアウトリーチ支援。 								
		活動指標（事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 専門相談件数（精神保健福祉相談・家族問題相談）	→	人	59	50	60	54	60	
	② 精神保健福祉相談件数（保健師対応）	↗	人	1,485	1,425	1,500	1,584	1,500		
③ ゲートキーパー養成【SC指標】	→	人	374	138	150	145	300			
指標の説明	①月に1回ずつ実施している精神科医および精神保健福祉士による相談利用件数 ②保健師が訪問・面接・電話等で精神保健福祉に関する相談を実施した件数 ③ゲートキーパー（悩んでいる人に気づき、声をかけ、必要な機関へつなぎ見守る人）についての講座を受講した人数									
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、事業縮小したことによる実績数減少							

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円） （人数の項目：人）		元年度	2年度	3年度		4年度			
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減（R3決算比）	
事業費	A	6,281	2,848	3,120	2,358	75.6%	3,482	1,124	
人件費	【正規（人数）】	(4.30)	(4.30)	—	(4.30)		(4.30)	—	
	【会計年度任用職員等（人数）】	(0.20)	(0.80)	—	(0.80)		(0.80)	—	
	人件費 B	B	37,270	39,430	—	39,430		39,430	0
事業費（人件費含む）	C=A+B	43,551	42,278	—	41,788		42,912	1,124	
財源内訳	国、都支出金		3,080	1,232	1,393	754		1,496	742
	使用料・手数料	D							0
	地方債・その他		402						0
一般財源	E=C-D	40,069	41,046	—	41,034		41,416	382	

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

成果指標および活動指標について概ね達成できている。新型コロナウイルス感染症による新しい生活様式が求められるなか、精神的ストレスによる不調が社会問題となっているため、受診支援等の精神相談関係事業を継続する必要がある。また、国が精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築を推進しており、誰もが安心して地域生活を継続できるよう、区民のメンタルヘルス向上と重症化予防に努める役割がある。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0803 - 18

事務事業名	災害時生活必需品（口腔衛生）備蓄事業	担当組織	池袋保健所	健康推進課
-------	--------------------	------	-------	-------

事業特性				
事業開始年度	2年度	事業終了年度		計画／一般
単独／補助	区単独事業	運営形態	直営	一般事業
事業を構成する予算事業	① 災害時生活必需品（口腔衛生）備蓄事業			②
計画事業No.				

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち	政策	健康な生活の維持・増進	
施策	健康危機管理の強化	施策番号	3-3-3	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標 様々な地域と共生・交流を図り、豊かな生活を実現できるまち
施策の目標	様々な地域と共生・交流を図り、豊かな生活を実現できるまち			

1. 事業の概要									
事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	避難所で生活する区民							
	事業の目的・期待する効果	避難所でも口腔衛生を保ち、災害関連死を防ぐ							
	事業概要	災害時、水不足の間は歯みがきが難しいため、口腔ケア用のウェットティッシュでの清拭、水が使用できるようになったら歯ブラシによる歯みがきが行えるよう生活必需品として各救援センターに口腔衛生用品を備蓄する。想定数の1/3の数を購入し、計画的に廃棄・購入できるようにする。							
基礎データ（事業のための資産・利用者等の情報）	・想定避難生活者34,115人（豊島区地域防災計画より）								
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度 目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	①	歯ブラシ備蓄数	→	本		11,400	22,800	22,800	34,200
	②	口腔ウェットティッシュ備蓄数	→	袋		0	1,520	1,520	3,040
	③								
	指標の説明	①想定避難生活者34,115人の1/3分の歯ブラシを毎年購入し、3年で想定避難生活者数の歯ブラシを備蓄する。5年度に1/3分廃棄し、その分を購入していく ②予算計上した金額で購入できた口腔ウェットティッシュを3年で3,040袋備蓄し、乳幼児・高齢者を中心に配布できるようにする。6年度に1/3分廃棄し、その分を購入していく。							
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							
事業の取組実績	3年度の取組内容（3年度に実施した具体的な業務内容）	全体の1/3ずつ3か年で購入し、購入から4年目以降に廃棄していく。（令和2年度に購入したものは令和5年廃棄） 廃棄分の歯ブラシについては学校や防災訓練、8020表彰などで配布、ウェットティッシュは乳児健診、防災訓練などで配布予定。 3年度は2年度で購入できなかった口腔ウェットティッシュも予算内で購入。（2年度時はコロナ禍で口腔ウェットティッシュの値が高騰し、予算計上した金額では購入することが出来なかった）							
	活動指標（事業の実績）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度 目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
	①	歯ブラシ購入数	→	本		11,400	11,400	11,400	11,400
	②	口腔ウェットティッシュ購入数	→	袋		0	1,520	1,520	1,520
	③								
指標の説明	①想定避難生活者34,115人の1/3分の歯ブラシ数 ②予算計上した金額で購入できた口腔ウェットティッシュ数								
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							

2. 事業費の推移									
単位 （金額の項目：千円） 人数の項目：人）	元年度	2年度	3年度			4年度		増減 （R3決算比）	
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算			
事業費	A	419	605	605	100.0%	1,238	633		
人件費	【正規（人数）】		—				—		
	【会計年度任用職員等（人数）】		—				—		
	人件費 B	B	0	0	—	0	0	0	
事業費（人件費含む）	C=A+B	0	419	—	605		1,238	633	
財源内訳	国、都支出金							0	
	使用料・手数料	D						0	
	地方債・その他							0	
一般財源	E=C-D	0	419	—	605		1,238	633	

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

計画通りに備蓄を買うことが出来ており、今後、廃棄に向けて関連課（防災危機管理課・学務課）と連携していく。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0803 - 19

事務事業名	予防接種事業	担当組織	池袋保健所	健康推進課
-------	--------	------	-------	-------

事業特性				
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画/一般
単独/補助	国・都補助 + 区上乗せ事業	運営形態	一部業務委託	計画事業
事業を構成する予算事業	① 予防接種(定期)経費	②	おたふくかぜワクチン接種助成経費	計画事業No. 3 - 3 - 3 - 2
	③ 先天性風しん症候群の発生防止のための緊急対策事業			

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち	政策	健康な生活の維持・増進	
施策	健康危機管理の強化	施策番号	3-3-3	関連するまち・ひととこ創生総合戦略の基本目標 子どもと女性にやさしいまち
施策の目標	感染症予防の正しい知識の普及啓発と予防接種率の向上など、感染症対策を強化します。			

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象 (具体的に記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種法による定期接種対象者の区民および、任意接種(おたふくかぜワクチン)の費用助成対象者の区民 ・先天性風しん症候群予防対策事業対象者(妊娠を希望する女性・妊娠を希望する女性又は妊婦のパートナー又は同居者) 							
	事業の目的・期待する効果	予防接種により、感染症による重症化を防ぐとともに、集団感染の拡大を予防し、区民の健康な生活を維持する。							
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症による死亡や重症化を防ぎ、集団感染の拡大を防ぐため、定期・任意予防接種対象者に個別通知と費用助成し、接種率の向上を図る。 ・先天性風しん症候群予防対策事業として、妊娠を希望する女性等の風しん抗体検査費用と、風しん感受性者への任意予防接種費用を全額助成することで接種率を向上させ、先天性風しん症候群の発生を防ぐ。 							
基礎データ (事業のための資産・利用者等の情報)	東京23区任意予防接種費用助成状況(豊島区を含む) ・おたふくかぜワクチン費用助成自治体…16区(うち全額助成は4区) 令和3年度								
事業目標の達成状況	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)	3年度(実績)	4年度(計画)	
	① おたふくかぜワクチン接種率	↗	%	94.2	99.1	95	89.8	95	
	② (先天性風しん症候群予防)風しん発生届	→	件	0	0	0	0	0	
	③								
	指標の説明	①おたふくかぜワクチンの1歳以上2歳未満の接種件数/1歳児対象者数の割合 ②先天性風しん症候群発生届出数(件数がないことが良い)							
	未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、接種が控えられたため					
事業の取組実績	3年度の取組内容 (3年度に実施した具体的な業務内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・定期予防接種対象者に、個別に予診票を発送して接種を勧奨し、接種者に対して全額を助成する。 ・任意予防接種(おたふくかぜワクチン)対象者に、個別に予診票を発送して接種を勧奨し、接種者に対して全額を助成する。 ・先天性風しん症候群予防対策事業については、豊島区と契約する実施医療機関で風しん抗体検査を行い、風しん感受性者への任意予防接種を実施する。費用については全額助成する。 							
	活動指標 (事業の実施状況)	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)	3年度(実績)	4年度(計画)
	① おたふくかぜワクチン接種件数	↗	件	2,058	1,978	2,000	1,710	2,000	
	② 先天性風しん症候群予防風しん・MRワクチン接種件数	↗	件	920	645	950	555	950	
	③								
	指標の説明	①②豊島区が独自に実施している任意接種の各費用助成件数							
	未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、接種が控えられたため					

2. 事業費の推移

単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)		元年度	2年度	3年度			4年度	
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減(R3決算比)
事業費	A	803,260	947,128	821,040	816,755	99.5%	966,207	149,452
人件費	【正規(人数)】	(2.10)	(2.10)	—	(3.00)		(3.00)	—
	【会計年度任用職員等(人数)】	(0.50)	(0.80)	—	(1.00)		(1.00)	—
人件費	B	19,650	20,730	—	29,100		29,100	0
事業費(人件費含む)	C=A+B	822,910	967,858	—	845,855		995,307	149,452
財源内訳	国、都支出金	48,500	144,270	42,720	40,345		41,545	1,200
	使用料・手数料							0
	地方債・その他	90,938	111,679	110,942	88,520		135,001	46,481
一般財源	E=C-D	683,472	711,909	—	716,990		818,761	101,771

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
感染症対策のため、予防接種率の向上に努めていく必要がある。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0803 - 20

事務事業名	感染症対策事業	担当組織	池袋保健所	健康推進課
-------	---------	------	-------	-------

事業特性					
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	計画事業
単独／補助	国・都補助事業	運営形態	一部業務委託	計画事業No.	3 - 3 - 3 - 1
事業を構成する予算事業	① 感染症予防・発生动向調査事業経費 ② エイズ対策経費 ③ 特定感染症検査等経費			④ 感染症の診査に関する協議会（結核）経費 ⑤ 結核健康診断等（定期）経費 ⑥ 結核健康診断等（法17条）経費	

政策体系（令和3年度基本計画）					
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち	政策	健康な生活の維持・増進		
施策	健康危機管理の強化	施策番号	3-3-3	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標	
施策の目標	感染症予防の正しい知識の普及啓発と予防接種率の向上など、感染症対策を強化します。				

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民一般・若年層・結核ハイリスク者等 区内医療機関・社会福祉施設・学校等								
	事業の目的・期待する効果	検査による早期発見を早期治療につなげ、結核・性感染症等のまん延を防止する。								
	事業概要	結核・性感染症等の感染症の早期発見、感染拡大防止のため、HIV（エイズ）/性感染症検査・相談及びB型・C型肝炎ウイルス検査、結核健診・結核患者服薬支援等を実施する。 若年層を対象とした、健診通知に検査案内及び感染症情報を同封する等して、感染症に対する正しい知識の普及・啓発を行う。								
基礎データ 事業のための資産 利用者等の情報	①人口（住民基本台帳登録者数（2022.1.1）283,342人 ②20歳から39歳男性48,905人（2022.1.1現在）うち健診案内通知8,720件（25歳、30歳、35歳） ③区内日本語学校8校（2021.9.1現在）									
事業目標の達成状況	成果指標 事業目標の達成度	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度 目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
		① HIV（エイズ）/性感染症検査件数	↗	件	552	250	300	236	300	
		② B型・C型肝炎ウイルス検査件数	↗	件	634	431	520	457	480	
	③（結核）日本語学校健診患者発見率	↘	%	0.11	0.14	0.1	0	0.2		
指標の説明	①②各検査受診件数 ③発見患者数/受診者数									
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為、検査の実施回数を減らざるを得ず検査件数も減った。							
事業の取組実績	3年度に実施した具体的な業務内容	①池袋保健所内における血液検査・尿検査による、HIV（エイズ）/性感染症検査、相談事業 ②生活習慣病予防健診でのB,C型肝炎ウイルス検査の実施 ③区内にある日本語学校で希望する学校の学生を対象とした胸部X-P写真撮影による健康診断								
		指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度 目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
		① HIV（エイズ）/性感染症検査件数	→	回	11	10	12	8	12	
	② B型・C型肝炎ウイルス検査件数	→	回	11	10	12	10	12		
③（結核）日本語学校健診受診者数	↗	人	3,550	691	2,500	484	1,500			
指標の説明	①②各検査実施回数 ③日本語学校を対象としたレントゲン検査受診数									
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為、検査の実施回数を減らざるを得なかった。							

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円） 人数の項目：人	元年度	2年度	3年度			4年度			
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減（R3決算比）		
事業費	A	13,774	11,298	11,246	6,181	55.0%	5,992	-189	
人件費	【正規（人数）】	(6.40)	(2.00)	—	(3.00)		(3.00)	—	
	【会計年度任用職員等（人数）】	(0.00)	(0.40)	—	(1.00)		(1.00)	—	
	人件費 B	B	54,400	18,440	—	29,100		29,100	0
事業費（人件費含む）	C=A+B	68,174	29,738	—	35,281		35,092	-189	
財源内訳	国、都支出金		9,808	5,233	5,315	3,260		2,635	-625
	使用料・手数料	D							0
	地方債・その他								0
一般財源	E=C-D	58,366	24,505	—	32,021		32,457	436	

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

保健所として感染症のまん延防止に努める必要があるため、継続して行う。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0803 - 21

事務事業名	ゆりかご・としま事業	担当組織	池袋保健所	健康推進課
-------	------------	------	-------	-------

事業特性					
事業開始年度	27年度	事業終了年度		計画／一般	計画事業
単独／補助	区単独事業	運営形態	直営	計画事業No.	3 - 3 - 2 - 6
事業を構成する予算事業	① ゆりかご・としま事業経費			②	

政策体系（令和3年度基本計画）					
地域づくりの方向	子どもを共に育むまち	政策	子ども・子育て支援の充実		
施策	地域の子育て支援の充実	施策番号	4-2-1	関連する「まち・ひととし」創生総合戦略の基本目標	子どもと女性にやさしいまち
施策の目標	子どもや家庭の状況に応じ、子育ての安心感や充実感が得られるよう、妊娠・出産期からの切れ目のない、きめ細やかな支援を実施します。				

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	妊娠届出者及び妊婦転入者								
	事業の目的・期待する効果	妊娠から子育てまで必要な相談・支援が切れ目なく受けられる体制を強化し、“女性にやさしいまちづくり”に資する。								
	事業概要	妊娠期は助産師又は保健師が、出産後は保育士等が面接し、面接時それぞれに育児パッケージを交付する。								
基礎データ 事業のための資産・利用者等の情報	妊娠届出数（区全体数） ・令和元年度妊娠届出2,743人（転入妊婦220人含む） ゆりかご面接数（区全体）1,681人 ・令和2年度妊娠届出2,620人（転入妊婦174人含む） ゆりかご面接数（区全体）2,221人 ・令和3年度妊娠届出2,487人（転入妊婦181人含む） ゆりかご面接数（区全体）1,545人									
	成果指標 事業目標の達成度	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度 目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
事業目標の達成状況	①	区民意識調査「安心して子どもを産み育てることができる」回答割合	↗	%	19.0	20.6	21.0	24.9	25.5	
	②	区民意識調査「安心して子どもを産み育てられる環境整備」回答割合	↗	%	48.0	—	50.0	—	—	
	③									
指標の説明	「協働のまちづくりに関する区民意識調査」における①子育て「妊娠・出産期からきめ細やかな支援がなされ、安心して子どもを産み育てることができる」の設問（毎年）と②女性に優しいと感じるまちの「安心して子どもを産み育てられる環境整備」の設問（3年に1回）に回答した割合。									
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由								
事業の取組実績	3年度の取組内容 3年度に実施した具体的な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届時に助産師又は保健師が面接し、妊娠中の不安への対応や産後の支援サービスについて情報提供。 ・面接者には、育児パッケージを配付している。また、多胎児支援を拡充。 ・継続支援を要する場合には「ゆりかご・としま支援計画」を作成し地区担当保健師が訪問等により出産後も支援を継続。 ・庁舎内保健所出張窓口や東西区民事務所で妊娠届をしたかたへ「ゆりかご面接券」を郵送し予約による面接を実施。 ・助産師による妊婦のための母乳教室を実施。 ・プレママ・サロン（妊婦同士の交流等）を実施。 								
	活動指標 事業の実施状況	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度 目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
	①	ゆりかご面接者数	↗	人	1,237	1,611	1,700	1,545	1,600	
②	ゆりかご支援計画作成者数	↘	人	43	38	35	34	33		
③	ゆりかご・としま事業における妊婦との面接等の割合	↗	人	61.3	84.8	62.0	62.1	64.0		
指標の説明	①ゆりかご面接を実施した妊婦の人数（妊娠届後、流産等出産に至らない場合や医療管理を要し入院となる場合があるため、妊娠届の約7割と見込む）。 ②①の面接者のうち、ハイリスク妊婦に作成した支援計画数。 ③妊婦面接等の割合：面接者数÷妊娠届者数×100									
未達成の状況	未達成	①・③主には新型コロナウイルスの影響で妊婦が外出を控える傾向にあるため。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策として、育児パッケージ（タクシー券等）を追加配付したためゆりかご面接の割合が例年より増加した。								

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）		元年度	2年度	3年度		4年度			
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)	
事業費	A	17,770	37,378	10,819	9,416	87.0%	10,543	1,127	
人件費	【正規(人数)】	(0.50)	(0.50)	—	(0.60)		(0.60)	—	
	【会計年度任用職員等(人数)】	(0.00)	(2.00)	—	(2.00)		(2.00)	—	
	人件費 B	B	4,250	11,450	—	12,300		12,300	0
事業費(人件費含む)	C=A+B	22,020	48,828	—	21,716		22,843	1,127	
財源内訳	国、都支出金		19,516	34,117	11,071	9,954		10,192	238
	使用料・手数料	D							0
	地方債・その他		1,457						0
一般財源	E=C-D	1,047	14,711	—	11,762		12,651	889	

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

成果指標は達成したが、活動指標の中心であるゆりかご面接数は目標に達しなかった。切れ目のない子育て支援の起点として重要な事業であるため、面接に至らなかった妊婦の分析をするとともに、面接数を増加させるための工夫を検討しながら継続して実施する。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0804 - 01

事務事業名	女性のしなやか健康づくり事業	担当組織	池袋保健所	長崎健康相談所
-------	----------------	------	-------	---------

事業特性				
	事業開始年度	26年度以前	事業終了年度	
	単独/補助	国・都補助事業	運営形態	直営
事業を構成する予算事業	① 女性のしなやか健康づくり経費			②

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち		政策	健康な生活の維持・増進
施策	こころと体の健康づくりの推進【重点】		施策番号	3-3-2 <small>関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標</small> 子どもと女性にやさしいまち
施策の目標	ライフステージに合わせ、女性の健康づくりを総合的に支援するとともに、結婚前から子育てに係る年代に対する切れ目のない支援を充実させます。			

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	概ね50歳以下の成人女性区民							
	事業の目的・期待する効果	女性のライフステージに合わせた、健康づくり教室や骨密度測定等を実施し、女性の生涯にわたる健康づくりを推進する。							
	事業概要	・骨太教室（骨粗しょう症予防教室 骨密度測定と教室）・ホルモンバランスを整える教室 ・乳幼児健診来所の母親の骨密度測定（超音波）と食事指導 ※令和3年度より、としま鬼子母神プロジェクト事業と統合した。							
基礎データ （事業のための資産・利用者等の情報）	住民基本台帳登録者数 R元年～R4年各4月								
	・18～29歳女性人口：R元年：R元年：27,818人、R2年：27,457人、R3年：26,220人、R4年：25,085人 ・30～39歳女性人口：R元年：23,414人、R2年：23,616人、R3年：23,182人、R4年：22,855人 ・40～55歳女性人口：30年：R元年：33,070人、R2年：33,429人、R3年：33,233人、R4年：33,176人								
事業目標の達成状況	成果指標 （事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 健康についてかなり意識できたと回答した割合	↗	%	69.2	68.8	70.0	78.1	75.0
		② 区民意識調査「女性の健康に関する施策・サービスの充実」割合	↗	%	17.4	-	20.0	-	20.0
	指標の説明	①教室のアンケートで健康についてかなり意識ができた（5段階の回答のうち）と回答した割合 ②「協働のまちづくりに関する区民意識調査」における「女性に優いと感じる街に大切だと思うこと」の設問の「女性の健康に関する施策・サービスの充実」に回答した割合（3年に1度）							
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							
事業の取組実績	活動指標 （事業の実施状況）	3年度の取組内容	・女性区民を対象に「骨密度測定と女性の健康」をテーマとした骨粗しょう症予防教室（1日制）を2回実施した。 ・女性区民を対象に「ホルモンバランスを整える」教室を3回実施した。 ・乳幼児健診に来所した母親を対象に骨密度測定を実施し、食事の大切さ・骨作り（将来の寝たきり予防）について栄養指導を行った。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、FFパートナーシップ連携事業は中止となった。						
		指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
		① 教室開催回数	→	回	6	4	5	5	5
	② 教室参加者数	↗	人	53	22	50	32	50	
③ 乳幼児健診時母親骨密度測定数	→	人	820	792	850	935	900		
指標の説明	①女性のしなやかな健康づくり教室（ホルモンバランス教室・骨粗しょう症予防教室）の実施回数 ②女性のしなやかな健康づくり教室（ホルモンバランス教室・骨粗しょう症予防教室）の参加者数 ③乳幼児健診（乳児健診・3歳児健診）の母親を対象とした骨密度測定の実施人数								
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由 ②は、コロナ予防により密を避けるため、教室の定員を減らしたため							

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	元年度	2年度	3年度			4年度		
	決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減（R3決算比）	
事業費	A	1,060	1,036	1,130	1,101	97.4%	1,235	134
人件費	【正規（人数）】	(0.70)	(0.70)	—	(0.70)		(0.60)	—
	【会計年度任用職員等（人数）】			—				—
人件費 B	B	5,950	5,950	—	5,950		5,100	-850
事業費（人件費含む）	C=A+B	7,010	6,986	—	7,051		6,335	-716
財源内訳	国、都支出金	611	552	551	564		610	46
	使用料・手数料							0
	地方債・その他							0
一般財源	E=C-D	6,399	6,434	—	6,487		5,725	-762

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
 コロナ禍で密を避けるために、現行の仮施設では、定員を減らさざるを得なかったが、概ね目標は達成されている。寝たきり予防のためにもライフステージに応じた女性の健康教室は重要であると認識している。移転後は、定員増とSNS等を活用した周知を図りたい。また、コロナ終息後は、以前のようにFFパートナーシップを活用して、民間企業と協力しながら若い女性を対象とした事業を展開していきたい。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0804 - 02

事務事業名	母親学級開催事業	担当組織	池袋保健所	長崎健康相談所
-------	----------	------	-------	---------

事業特性											
	事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	計画事業	計画事業No.	3	3	2	14
	単独／補助	区単独事業	運営形態	直営							
事業を構成する予算事業	① 母親学級開催経費				②						

政策体系（令和3年度基本計画）											
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち				政策	健康な生活の維持・増進					
施策	こころと体の健康づくりの推進【重点】				施策番号	3-3-2				関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標	子どもと女性にやさしいまち
施策の目標	ライフステージに合わせ、女性の健康づくりを総合的に支援するとともに、結婚前から子育てに係る年代に対する切れ目のない支援を充実させます。										

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	初めて妊娠した区民およびそのパートナー										
	事業の目的・期待する効果	初めて出産を迎える妊婦及びそのパートナーが、母体の健康と子の養育を父母の共同の責任としてとらえ、新しい命を迎える準備ができるようにする。										
	事業概要	平日3日制で毎月実施 内容：妊娠中の生理や栄養、お産の準備や産後の生活、沐浴実習、歯科衛生このほか、妊婦のための母乳教室やプレママサロン（妊婦のグループミーティング）を実施										
基礎データ（事業のための資産・利用者等の情報）	妊娠届出数（区全体数）											
	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度妊娠届2,743人（転入妊婦220人含む） 令和2年度妊娠届2,620人（転入妊婦174人含む） 令和3年度妊娠届2,487人（転入妊婦181人含む） 											
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）			
		① 区民意識調査「安心して子どもを産み育てることができる」回答割合	↗	%	19.0	20.6	21.0	24.9	25.0			
		② 区民意識調査「安心して子どもを産み育てられる環境整備」回答割合	↗	%	48.0	-	50.0	-	50.0			
	③											
指標の説明	「協働のまちづくりに関する区民意識調査」において											
	①子育て「妊娠・出産期からきめ細やかな支援がなされ、安心して子どもを産み育てることができる」と回答した割合 ②「安心して子どもを産み育てられる環境の整備」と回答した割合（3年に1度）											
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由										
事業の取組実績	3年度の取組内容（3年度に実施した具体的な業務内容）	<ul style="list-style-type: none"> 妊婦を対象とした出産・育児・栄養・歯科衛生に関する教室を3日制で6コース実施した。 妊婦のための母乳教室を6回実施した。 プレママサロン（妊婦同士の交流、グループミーティング）を12回実施した。 コロナ禍のため、参加者をフロアを分けるなど感染予防対策を徹底して実施した。 										
		活動指標（事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）		
			① 母親学級実施回数	→	回	18	16	18	18	18		
	② 母親学級参加者数		↗	人	311	320	300	254	250			
③ わかりやすかったと回答した割合	↗	%	78.9	79.2	80.0	79.0	80.0					
指標の説明	①母親学級の延実施回数 ②母親学級の延参加者数 ③母親学級のアンケートで「赤ちゃんのいる生活」がわかりやすかったと回答した割合											
	未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由 ②はコロナ禍のため、また、妊娠届出数の減により、減少したと考えられる。									

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）		元年度	2年度	3年度			4年度	
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減（R3決算比）
事業費	A	223	193	281	275	97.9%	303	28
人件費	【正規（人数）】	(0.80)	(0.80)	—	(0.80)		(0.50)	—
	【会計年度任用職員等（人数）】		(0.90)	—	(0.90)		(0.90)	—
	人件費 B	B	6,800	10,040	—	10,040		7,490
事業費（人件費含む）	C=A+B	7,023	10,233	—	10,315		7,793	-2,522
財源内訳	国、都支出金							0
	使用料・手数料							0
	地方債・その他							0
一般財源	E=C-D	7,023	10,233	—	10,315		7,793	-2,522

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

活動指標は、コロナ禍や出産届の減により、減少したが、成果指標は達成している。また、区民の利便性を考え、健康推進課の予算事業パパママ準備教室と合わせて、選択ができるようになっている。長崎健康相談所の母親学級については、3回目は両親で参加できることを周知していきたい。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0804 - 04

事務事業名	幼児歯科健康診査事業	担当組織	池袋保健所	長崎健康相談所
-------	------------	------	-------	---------

事業特性											
	事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	計画事業	計画事業No.	3	3	2	7
	単独／補助	区単独事業		運営形態	直営						
事業を構成する予算事業	① 歯科衛生経費				②						

政策体系（令和3年度基本計画）										
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち				政策	健康な生活の維持・増進				
施策	こころと体の健康づくりの推進【重点】				施策番号	3-3-2 関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標 子どもと女性にやさしいまち				
施策の目標	ライフステージに合わせ、女性の健康づくりを総合的に支援するとともに、結婚前から子育てに係る年代に対する切れ目のない支援を充実させます。									

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民（乳幼児）								
	事業の目的・期待する効果	乳幼児期から歯と口腔の健康づくりを推進し、区民の生涯にわたる健康の保持を増進する。								
	事業概要	・子ども歯科健診（2歳児、2歳6か月児、3歳6か月児～4歳児）に加え、1歳児歯科健診に併せて保健師、栄養士の集団指導を行う。								
基礎データ（事業のための資産・利用者等の情報）	<ul style="list-style-type: none"> 1歳6か月児健康診査対象者数 R元年度:641人、R2年度:657人、R3年度:605人 3歳児健康診査対象者数 R元年度:581人、R2年度:623人、R3年度:632人 									
事業目標の達成状況	成果指標（事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
		① 1歳6か月児保健指導でのむし菌のない児童の割合	↗	%	94.9	99.0	98.0	99.2	99.0	
		② 3歳児歯科健診でのむし菌のない児童の割合	↗	%	93.2	94.5	90.0	94.6	94.5	
	③									
指標の説明	①、②共に、むし菌のない児童数を受診者数で除した割合。健康な歯をもつ児童の割合。									
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由								
事業の取組実績	3年度の取組内容（3年度に実施した具体的な業務内容）	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども歯科健診（2歳児、2歳6か月児、3歳6か月児～4歳児） ・1歳児歯科健診に併せて保健師、栄養士の集団指導 ・歯科巡回指導（保育園・区民ひろば） ・（法定健診である1歳6か月児健診から3歳児健診 事業費は1歳6か月児健診・3歳児健診 健康診査事業経費） 								
		活動指標（事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）
			① 1歳6か月児保健指導者数	↗	人	547	581	580	533	580
	② 3歳児健康診査受診者数		↗	人	529	583	550	577	550	
③ 子ども歯科健診受診者数	↗	人	392	313	400	355	400			
指標の説明	①長崎管内の1歳6か月児の年間延保健指導者数。 ②長崎管内の3歳児健診の年間延受診者数。 ③2歳児、2歳半児、3歳半～4歳未満児を対象にした子ども歯科健診の受診者数。									
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由 新型コロナウイルス感染拡大、保育施設のクラスター発生等の影響で受診者数の極端に少ない月が複数月あったため。								

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円） （人数の項目：人）		元年度	2年度	3年度			4年度	
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減（R3決算比）
事業費	A	1,496	1,072	1,502	1,502	100.0%	1,638	136
人件費	【正規（人数）】	(0.05)	(0.05)	—	(0.10)		(0.10)	—
	【会計年度任用職員等（人数）】		(0.60)	—	(0.60)		(0.60)	—
人件費 B	B	425	2,585	—	3,010		3,010	0
事業費（人件費含む）	C=A+B	1,921	3,657	—	4,512		4,648	136
財源内訳	国、都支出金							0
	使用料・手数料	D	84	44	64	51	64	13
	地方債・その他							0
一般財源	E=C-D	1,837	3,613	—	4,461		4,584	123

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
 活動指標の受診者数等は、コロナ禍の影響を受けているが、成果指標はいずれも高い数値で達成している。母親学級等、妊娠から出産、子育てまでの切れ目のない支援の成果であると認識している。保育園等の歯科巡回指導ニーズは高いが、これ以上巡回回数を増やす場合には、人員等予算の拡充が必要になる。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0804 - 06

事務事業名	精神保健事業	担当組織	池袋保健所	長崎健康相談所
-------	--------	------	-------	---------

事業特性				
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画/一般
単独/補助	区単独事業	運営形態	直営	計画事業
事業を構成する予算事業	① 精神保健事業経費			計画事業No. 3 - 3 - 2 - 9

政策体系（令和3年度基本計画）				
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち	政策	健康な生活の維持・増進	
施策	こころと体の健康づくりの推進【重点】	施策番号	3-3-2	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標 子どもと女性にやさしいまち
施策の目標	メンタルヘルスについての正しい知識を広め、セルフケアができる人や周囲の方を気遣える人を増やします。			

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	区民								
	事業の目的・期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> 精神障害者や精神疾患が疑われる区民に対する相談支援が充実し、地域で安定した生活が送れる。 普及啓発を図ることにより精神障害者への理解を深める。 								
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 精神的に障害を有する者や関係者に対し、専門医による相談を実施するとともに、随時、保健師等により相談や訪問指導を行う。 自立支援医療費制度による通院医療費の公費負担申請、患者票等の受理経由事務、精神障害者保健福祉手帳申請・交付を行う。 普及啓発としては、こころまつりを開催している。 								
基礎データ （事業のための資産 利用者等の情報）	住民基本台帳登録者数 R元年～R4年各1月 人口：R元年：289,503人、R2年：290,246人、R3年：287,300人、R4年：283,342人 長崎健康相談所管内：R元年：84,840人、R2年85,306人、R3年：84,856人、R4年：84,146人									
事業目標の達成状況	成果指標 （事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
	① 自立支援医療新規申請件数	↗	件	202	234	250	240	250		
	② 区民意識調査の充実していると回答した割合	↗	%	18.1	15.7	17.0	18.7	19.4		
指標の説明	①精神疾患のため通院による治療を受ける場合、通院医療費の負担軽減を図る制度の新規申請件数 ②「協働のまちづくりに関する区民意識調査」における健康・保健の「ライフステージに合わせた、こころとからだの健康づくりに関する支援が充実している」と回答した割合									
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	①は3年度目標値より下回っているが、前年度より上回り、目標値に近い数字である。							
事業の取組実績	3年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 精神疾患が疑われる区民並びに関係者に対し、精神保健相談を面接・電話などで随時実施し、必要かたに精神科専門医による相談を年6回実施した。 自立支援医療費制度による通院医療費の公費負担申請、患者票等の受理経由事務、精神障害者保健福祉手帳申請・交付の事務。 こころまつりは、新型コロナウイルス感染拡大のため中止としたが、翌年度以降への継続的展開を図るため、実行委員会に参加団体の活動をまとめた冊子をつくり配布した。 								
	活動指標 （事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度（実績）	2年度（実績）	3年度目標（計画）	3年度（実績）	4年度（計画値）	
	① 訪問指導数	→	件	137	86	140	106	140		
	② 所内面接・電話相談・文書相談数	↗	件	2,635	1,621	2,000	1,209	2,000		
③ こころまつり参加者数	↗	人	852	—	450	—	450			
指標の説明	①精神疾患が疑われる者並びに関係者に対し、保健師等による訪問指導件数 ②精神疾患が疑われる者並びに関係者に対し、専門医、保健師等による面接、電話、文書等による相談件数 ③こころまつり参加者数									
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	②はコロナ禍のため減少した。③は実行委員会においてコロナ禍のため開催中止とし、次年度へ向けて、事業所紹介を区ホームページにて行い、精神保健福祉の普及啓発に努めた。							

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）		元年度	2年度	3年度		4年度		
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R3決算比)
事業費	A	664	587	694	602	86.7%	683	81
人件費								
【正規(人数)】		(0.70)	(0.70)	—	(0.70)		(0.70)	—
【会計年度任用職員等(人数)】				—				—
人件費 B	B	5,950	5,950	—	5,950		5,950	0
事業費(人件費含む)	C=A+B	6,614	6,537	—	6,552		6,633	81
財源内訳								
国、都支出金								0
使用料・手数料	D							0
地方債・その他								0
一般財源	E=C-D	6,614	6,537	—	6,552		6,633	81

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識

成果指標、活動指標ともにコロナ禍の影響を受けていると認識している。専門相談をはじめ、保健師による相談等には、丁寧に対応している。件数は減少しているが、一つ一つのケースの課題が複合的で困難なケースが増加しているため、他課や他機関との連携の重要性が増している。

令和3年度（令和4年度実施）事務事業評価表【B表】

事業整理番号 0804 - 08

事務事業名	ゆりかご・としま事業	担当組織	池袋保健所	長崎健康相談所
-------	------------	------	-------	---------

事業特性											
	事業開始年度	27年度	事業終了年度		計画／一般	計画事業	計画事業No.	3	3	2	6
	単独／補助	区単独事業		運営形態	直営						
事業を構成する予算事業	① ゆりかご・としま事業経費				②						

政策体系（令和3年度基本計画）											
地域づくりの方向	子どもを共に育むまち				政策	子ども・子育て支援の充実					
施策	地域の子育て支援の充実				施策番号	4-2-1		関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標			子どもと女性にやさしいまち
施策の目標	子どもや家庭の状況に応じ、子育ての安心感や充実感が得られるよう、妊娠・出産期からの切れ目のない、きめ細やかな支援を実施します。										

1. 事業の概要

事業の目的・概要	実施の対象（具体的に記載）	妊娠・出産から子育てまで必要な相談・支援が切れ目なく受けられる体制を強化し、“子どもと女性にやさしいまちづくり”を推進する。								
	事業の目的・期待する効果	妊娠届出者及び妊婦転入者								
	事業概要	妊娠期は助産師又は保健師が、出産後は保育士等が面接し、面接時それぞれに育児パッケージを交付する。 ※当該事業は平成30年度までは事業予算を計上していた健康推進課が一括で事業評価を実施。令和元年度より業務実態に合わせ、予算をそれぞれの課で計上したことにより長崎健康相談所でも事業評価を開始した。								
基礎データ （事業のための資産・利用者等の情報）	妊娠届出数(区全体数) ・令和元年度妊娠届2,743人(転入妊婦220人含む) ゆりかご面接数(区全体)1,681人 ・令和2年度妊娠届2,620人(転入妊婦174人含む) ゆりかご面接数(区全体)2,221人 ・令和3年度妊娠届2,487人(転入妊婦181人含む) ゆりかご面接数(区全体)1,545人									
事業目標の達成状況	成果指標 （事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)	
		① 区民意識調査「安心して子どもを産み育てることができる」回答割合	↗	%	19.0	20.6	21.0	24.9	25.0	
		② 区民意識調査「安心して子どもを産み育てられる環境整備」回答割合	↗	%	48.0	-	50.0	-	50.0	
	③									
	指標の説明	「協働のまちづくりに関する区民意識調査」における①子育て「妊娠・出産期からきめ細やかな支援がなされ、安心して子どもを産み育てることができる」の設問と②女性に優しいと感じるまちの「安心して子どもを産み育てられる環境整備」の設問に回答した割合。(三年に一度の調査)								
	未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							
事業の取組実績	3年度の取組内容	・妊娠届時に助産師又は保健師が面接し、妊娠中の不安への対応や産後の支援サービスについて情報提供。 ・面接者には、育児パッケージを配付している。また、多胎児支援を拡充。 ・継続支援を要する場合には「ゆりかご・としま支援計画」を作成し地区担当保健師が訪問等により出産後も支援を継続。 ・庁舎内保健所出張窓口や東西区民事務所で妊娠届をしたかたへ「ゆりかご面接券」を郵送し予約による面接を実施。 ・助産師による妊婦のための母乳教室を実施。 ・ゆりかご・ふらっと(妊婦同士の交流等)を実施。								
	活動指標 （事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度目標(計画)	3年度(実績)	4年度(計画値)	
		① ゆりかご面接者数	↗	人	444	610	471	412	448	
		② ゆりかご支援計画作成者数	↘	人	16	12	15	13	13	
	③ ゆりかご・としま事業における妊婦との面接等の割合	↗	%	61.3	84.8	62.0	62.1	64.0		
	指標の説明	①ゆりかご面接者数は、前年度の妊娠届出数(長崎圏域は約3割)の約6割(妊娠届後、流産等出産に至らない場合や医療管理で入院となる場合等を考慮) ②①の面接者のうち、ハイリスク妊婦に作成した支援計画数。 ③妊婦面接等の割合(区全体):面接者数÷妊娠届出数×100								
	未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由 ①・③主には新型コロナウイルスの影響で妊婦が外出を控える傾向にあるため。令和2年度は、新型コロナウイルス感染予防対策として、育児パッケージ(タクシー券等)を追加配付したためゆりかご面接の割合が例年より増加した。							

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目:千円 人数の項目:人）		元年度	2年度	3年度			4年度	
		決算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減(R3決算比)
事業費	A	4,007	37	34	28	82.4%	34	6
人件費	【正規(人数)】			—	(0.10)		(0.40)	—
	【会計年度任用職員等(人数)】		(0.60)	—	(0.60)		(0.60)	—
	人件費 B	B	0	2,160	—	3,010		5,560
事業費(人件費含む)	C=A+B	4,007	2,197	—	3,038		5,594	2,556
財源内訳	国、都支出金		3,358					0
	使用料・手数料	D						0
	地方債・その他							0
一般財源	E=C-D	649	2,197	—	3,038		5,594	2,556

目標の達成状況、取組実績、事業費の推移を踏まえた所管課の認識
 妊娠・出産から子育てまで切れ目のない相談・支援が受けられる体制として本事業は、必要不可欠である。また、支援に必要な妊婦を早期に発見し、ゆりかご支援計画作成や出産後に必要な支援サービスを紹介したり、要保護児童対策地域協議会につなげたり、児童虐待を未然に防ぐ重要な事業である。一方、コロナ禍のため、妊婦が外出を控え、活動指標のゆりかご面接の割合は目標に達しているが、面接者数は達していない。オンライン面接等については、国や都の動向を見ながら、引き続き検討していく。